

大谷大学広報

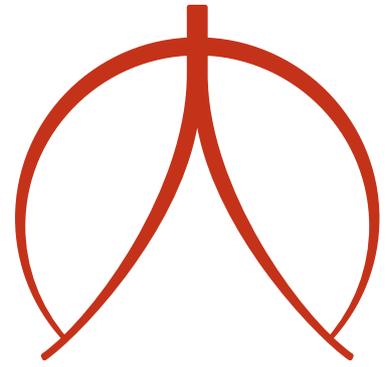
編集 大谷大学広報編集委員会

No.156

2004年1月8日

2003

冬



フェスティバル幼教より

冬扇

教養部の学生時代に地理同好会に属した縁で、東洋史を専攻してからも、歴史地図はいうまでもなく、国土地理院の現代地形図も大好きである。数年来、地理同好会以来の親友と歴史地図の展覧会を企画して図録解説を担当したり、「15・16・17世紀成立の絵図・地図と世界観」研究会に参加したり、また各地の博物館や美術館で開催される探検や地図の特別展を参観して、至福の時をもっている。

最近も、芦屋市立美術博物館で「二楽荘と大谷探検隊Ⅱ」をみ、六甲山の東南面の山麓に大谷光瑞が建てた別邸〈二楽荘〉関連の絵葉書や大谷探検隊員たちの旅程図に興味をそそられた。また東京国立博物館での江戸開府400年記念特別展「伊能忠敬と日本図」では日本全土を三枚に収める「日本沿海輿地図（小図）」に魅入られた。この伊能図の基準経度〈中度〉は江戸ではなく、山城つまり京都であるのを知った時は驚愕した。

伊能図小図の縮尺は432000分の1。縮尺といえば、国土地理院の地形図は「五万分の一」が有名だが、「二万五千分の一」と「二十万分の一」を私は愛用してきた。この「二万五千分の一」の規格が38年ぶりに変更され、文字で表わされてきた「博物館・美術館」と「図書館」に地図記号が新設される。前者はギリシャ神殿を、後者は開いた本を基にして、記号化される。本学博物館の開館時期に合わせたかのように。（礪波 護）

今年も1年無病息災!!

～私の健康法～

病気になって、やっとの思いでたどり着いた病院で、診察待ちの長い時間を過ごしていると、ふと今更のように健康のありがたさが身に沁みる。今の世は未曾有の「健康」ブーム、「体によい」・「癒される」・「除菌効果」etc、様々な商品が巷に広がっている。その実際の効能はともかく、健康についてのおしゃべりはまた、妙に盛り上がってしまうことも事実である。そしてそれは、やはり私たちの「不健康」を物語るものなのかもしれないと内心密かに思う。ここにご披露いただく数々の知恵も、そうした楽しいおしゃべりの糧となれば・・・。



私のストレス発散法

須藤 里美

私には、これといった「健康法」らしい健康法はない。TVでこれが体に良いと報じられれば実行してはみるものの、大抵三日坊主で終わってしまい持続したことが殆どない。私が体に気を使うことといえば、毎日納豆を食べること、その日たまったストレスを次の日まで続かせないことくらいだ。

「ストレス」を心理学的に説明すると、寒冷・外傷・疾病・精神的緊張などが原因となって、体内で起こる一連の非特異的な防御反応のことで、特にストレスラーの攻撃に弱い部分、例えば循環器・消化器などが機能障害を起こし、胃炎・胃潰瘍になったり、頭痛を起こすなど、人様々だという。因みに、ストレスの初期症状には次のような事柄が挙げられる。

1. 目が疲れやすい
2. 肩がこりやすい

3. 背中や腰が痛くなる
4. 朝、気持ちよく起きられないことがある
5. 頭がすっきりしない
6. たちくらみがしそうになる
7. 夢をよくみる
8. 手・足が冷たくなることが多い
9. 食べ物が胃にもたれることが多い

そこで、私がよく実行するストレス発散法をまとめて紹介しようと思う。

①体を疲れさせる。

例えば私は、鴨川沿いを全力疾走する、シャドーボクシングをする、気が済むまでとことん寝る。最後の「寝る」というのは、学生という身分の今しかできないが、風邪をこじらせる前に安静にするのと同様に、ストレスも長引かせないことが一番だ（だからといっ

て、むやみに授業をさぼらないように）。

②声を出す。

私のオススメはカラオケに行って大声で歌い、ストレスを発散することなのだが、時間もお金もない時は、お喋りをするだけでも結構、ストレス解消になる。10人に1人(最近はもっと多いと思うが)はうつ病を抱えているというが、人は1日に2500語以上喋らないと、うつになり易くなるらしい。

③開き直る。

(勉強は別として) やりたくないことはしない、生きたいように生きることも、気持ちを楽にするには大事だ。私は追いつめられた時「なんとかなるさ」と楽観的に考えて、気持ちを楽にしている。

ここまで偉そうに書いてきたが、これらに医学的根拠があるかどうか分からないし、私なりのや

り方なので、皆さんも自分なりの
ストレス発散法を見つけて、心身
共に健康を維持してほしいと思
う。

(すとう さとみ)
(史学科 第3学年)

笑顔で健康になろう



Chaowarithreonglith
Bunchird

「健康法について、原稿を書いて
くれませんか」と言われた当初、
頭の中は真っ白であった。生まれ
てから今まで私は、健康法なんて
真剣に考えたことがなかったから
である。

小学校の頃、私の父親は、私の
通知表の中にある保護者のコメン
トのところに「あまり健康でない
子」と、いつもそんなコメントを
書いていた。なぜ父が私の健康の
ことをそのように思っていたか、
私には分からない。私の記憶と意
識に限っては、小学校の頃も今も、
私は健康な人間だと思う。いや、
周りの人より少し健康だったかも
しれない。少なくとも高校を卒業
して以来、病気で寝込んだことは
一回しかなかった。特に、タイの
気候とは違う日本へ留学して以
来、病気で医者さんのところへ
行ったことは一回もないのである。
そのような、私には何か自分の
意識していない健康法があった
のかもしれない。

よくよく考えてみると、悪いこ
とをしない・良いことを行う・心
を清らかにするというブツダの三
つの人生観と同じように、私の健

康法も三つあると思う。つまり、
体に悪いものを入れない・良いも
のを入れる・心を清らかにするこ
とである。体に悪いものを入れない
とは、お酒も飲まず、タバコも
吸わないことで、体に良いものを
入れるとは、栄養のある食事をと
ることや運動することなどである。
この二つのことは誰もが認める
健康法であろう。今、タイの政
府は国民の健康を目指して、民
間・学校・お寺の協力を得て、
「酒を注ぎ捨て・タバコを燃やし」
という活動を行っている。つまり、
自分が持っているお酒とタバコを
捨てて、それを差し控えるという
ことである。自分の健康と家族の
ことを思って、活動に参加する人
が多いそうである。

そして、私の最後の健康法、心
を清らかにすること。つまり、そ
れは瞑想なのである。私は毎日瞑
想をしている。瞑想により生じた
穏やかな力・エネルギーが健康も
含めて様々な面において、私の生
活を支えてくれている、と毎日の
ように実感している。また、タイ
で非常にブームになっている「チ
ーワ・ジット」(命・心)という

CONTENTS

- p. 2…今年も1年無病息災!!
～私の健康法～
- p. 9…CAMPUS☆TOPICS
- p.15…事務窓口ホームページ化への
取り組み ～「学生向け情報
提供システム」内に【就職支
援】メニューを追加!～
- p.16…OUNETから
Web Mailサービス開始
- p.17…学問のしおり
- p.18…紫明祭を終えて
- p.20…2003年度 秋季大会結果
- p.22…Keiji☆Ban
- p.28…2004年度学費について
- p.29…2004年度公募制推薦入試結果
2004年度大学院秋季試験
(修士課程) 結果
- p.30…谷大エリア散策
- p.31…写真でふりかえる大谷大学今昔
- p.32…学生相談室から/出版物紹介
- p.33…研究室だより/学会だより
- p.34…大谷中学校・大谷高等学校か
らのお知らせ
九州大谷短期大学からのお知らせ
- p.35…2004年度(平成16年度)学年暦
- p.36…SQUARE

表紙のことば

フェスティバル幼教
この日のために
一生懸命練習してきた

辛いこともいっぱいあったけれど
子どもたちの笑顔を見ていると
そんなことも忘れてしまう

幕がおりた後に残ったものは
達成感と
ほんの少しの寂寥感

冬扇

詳しくは「夏炉冬扇」という。夏の
炉や冬の扇のように役にたためことの
意味に用いる。ここでは役にたつた
ない次元をこえて一筋の道に生きる
精神をあらわす。

健康法も、本当の健康は心と体のバランスにあると考える。これは昔からの健康法の考え方のようである。

ここで、瞑想や平穏な心とかいとうと、硬く難しい話になってしまう恐れがあるから、もっと具体的に簡単な言い方を使いたい。それは、皆が持っている笑顔のことである。なぜかという、瞑想で心が清らかで元気になると、自然にほほ笑みが顔に浮かんでくるからである。(これは仏像がいつも安

らかな笑顔を浮かべている理由かもしれない。) 笑顔は健康に良い効果があるということは、科学的にも認められている。私は、「笑顔で病気が治る」という小さな本を読んだことがある。その本の中で、怒った顔はもちろん普通の顔よりも、笑顔の方が顔に与える負担は少なく、よく笑う患者の病気は普通の患者より、早く治るなどの話がたくさん書かれていた。

笑顔は、ものと違って人に与えてもなくなる。むしろ相手に

笑顔を返してもらえないはずである。なくなるどころか、与えれば与えるほど増えていくもの、それが笑顔なのである。

お金のかからない簡単な笑顔によって、皆で健康になろう。少なくとも、この記事を読み終わった後、自分自身に小さな笑顔を作ってみてください。それはあなたと周りの健康のための大きな第一歩なのである。

(チャオワリスレオンリス バンチャード)
博士後期課程仏教学専攻
第1学年



自転車通い歴20年

浅若 裕彦

小学生の頃、学校で歯磨きの指導を受けたことがある。校医さんだったか外部の人だったかは覚えていないが、大きな歯ブラシと歯の模型を使っての実演であった。そのとき教えてもらった「正しい」磨き方は、歯ブラシを歯に垂直に当てて、柄を手首で回転させて磨くというもので、確かローリング法とか何とかいう名前がついていたと思う。しかし現在正しいとされている磨き方は、これとは全く違う。私は素直に信じていたので、違うと分かったときには少々ショックを受けたが、こういうことはそう珍しいことでもないようである。

健康法にも怪しいものがある。今は健康によいと言われていることでも、将来どう評価されるかは分からない。一時もては

やされたジョギング健康法の提唱者が、ジョギング中に倒れて亡くなったというのは有名な話である。身体によいと言われている食べ物もいろいろあるが、それを片っ端から食べていたら食べ過ぎになるだろう。生半可な知識と盲信は健康の敵である。

現在の自分の生活の中には、健康法と呼べるようなものは何もない。強いてあげるとすれば、自転車通勤ぐらいだろうか。自宅から大谷大学まで20分ほど。まあ適度な運動にはなっていると思う。高校も大学も自転車で通っていたので、自転車通い歴は通算20年ほどになる。しかし健康を考えて自転車通いをしてきたわけではない。高校に自転車で行っていたのは、電車を使うと遠回りになって倍ほど時間がかかってしまうからであ

る。一度電車で行ってみたこともあるが、慣れない満員電車に乗ったらそれだけで疲れて朝からヘロヘロになってしまい、二度と御免だという気分になった。大学は歩いて行ける距離にあったが、楽をして自転車に乗っていたのである。そして現在。たまに雨の日などバスに乗ることもあるが、バスはあまり好きではない。急いでいるときに時刻表などあつて無きがごときバスをまだかまだかと待つのは、精神衛生上よいわげがない。バス停の手前の交差点で赤信号に引っ掛かっているときに、目の前をバスが3台連なって走っていったりすると、悪態の一つもつきたくなる。

結果として自転車通勤は、ストレスの軽減という点でも健康に役立っているかもしれない。ただし、

北大路を自転車で走って息をはずませていると、排気ガスを多く吸

い込んでしまうことは間違いな

(あさわか ひろひこ)
助教授 英語文体論

私の健康法

中尾 達子



生来頑健な身体の持ち主であり、ものぐさな私は、今まで健康の為に敢えて「何かをする」ということがなかった。スポーツでも楽しいから続け、美味しいと思うものを食してきた。今のところ、それがうまく私自身の健康につながっているようなのである。只、現在がうまくいっているからといって、齢を重ねる今後もそうとは限らない。世はまさに高齢化社会の準備段階に入っていることでもあるし…。

そこで毎日の生活を振り返って見ると、健康のためには「快食・快眠・快便」を保つことが大切であると思う。確かに、一つでも欠けると身体のリズムが狂って体調不良に陥り、不快感が募って精神をも害してしまう。「健全なる精神は健全なる肉体に宿る。」と昔から言われている。健康でないと物事をプラス志向には考えにくい。

上記の基本的条件のうち、今一番関心のあるのが「快食」である。私の幼少時と現在とでは「食」を

取り巻く環境は激変した。日本社会の変化がわれわれの食生活をも著しく変化させているのだ。食料自給率の低下、農薬・化学肥料・食品添加物などの多用が原因となって食材の安全性が著しく損なわれている。食材がどこでどのようなに作られたかに関心を持ち、その素性を確かめて安全なものを食卓に載せるよう心掛けたい。安全な食材の手料理を家族、友達とワイワイガヤガヤと時間をかけてゆっくり食べれば最高である。

私が毎日食べている食品をご紹介します。まずは「韓国キムチ」。もう一点が「カスピ海ヨーグルト」。インターネットで「キムチ」の効能について調べて見た。①生体の調節 ②疾病の予防 ③疾病の回復 ④生体リズムの調節 ⑤老化抑制とあった。なんと素晴らしい効用なのだろう。二点目の「カスピ海ヨーグルト」の由来の経緯は長寿地域の調査研究のため京大教授が栄養分析のサンプルとして持ち帰ったのが普及のきっかけとされている。作り方はすごく

簡単にインターネットで調べられることもできる。菌を友達に分けてもらって以来、今では我が家の定番デザートである。キムチもヨーグルトも乳酸菌がたっぷり含まれているので身体にやさしい食品であることは言うまでもない。二品ともお薦めである。(余談ではあるが、嫌いな食品はハンバーガーとコココーラ。)

健康には運動も忘れてはならない。私は3、4年前に週1回のテニスを始めた。今もって一向に上達はしていないがとっても楽しい。ラケットを握り、全身に汗をかく爽快さは何にも替えがたい。私の心の健康(ストレス発散)には大いに役立っている。

結局一番の健康法とは、栄養のバランスの取れた安全な食事を摂り生活のリズムを整えて精神的に安定した毎日を送る、要するに人生を楽しむことに尽きると思う。

(なかお さとこ)
教育研究支援課 職員



スポーツと生活における健康法

福田 哲也

健康とは人間が長い人生を生きていく上で、まず第一に考えていくべきことである。私も健康については、大きなケガや病気をしなければそれでいい、という考え方を今までしてきたのだが、大学に入学してからは健康に対する考え方が変わったのである。健康について考えるようになったのは、アメリカンフットボールというスポーツを始めてからである。

アメリカンフットボールは球技に分類されるが、グラウンドでは人間同士が堅くて重い鎧とヘルメットを身に付け、体をぶつけ合う一種の格闘技である。その為、練習や試合では激しい格闘によって骨折や脱臼など、他のスポーツではなかなか起こりえないケガというもの^{まとも}が付き纏うのである。私は本学のクラブ活動でアメリカン

フットボールを始めるとき、こんなにケガが多いと思われるスポーツを、自分にできるかどうか不安であった。

しかし、そのような不安をきっかけに健康に対する考え方が変わったのである。アメリカンフットボールを始めた頃、指の骨折や足の打撲をしたことがあった。ここで私は自分の骨が未熟であり、カルシウムが不足しているということが分かったのである。私は大きなケガをしてみても初めて、アメリカンフットボールとは気を抜いてはできないスポーツであることを知ったのだ。このケガをきっかけに体格が細いことを痛感した。それからは毎朝にぼしなどの小魚を食べてカルシウムを強化したり、体格を大きくする為にウエイトトレーニングに励み、本を読んでゆ

で卵が体重増加につながると知ると、それも毎日食べるように実行したのである。そのおかげで入部当初よりケガというものが減少していったのだ。

このようにスポーツをすることによって、今まで考えもしなかった健康について真剣に考えるようになった。健康とはスポーツだけでなく、人間が長い人生を生き抜いていく上で欠かすことのできない課題である。スポーツだけでなく日々の生活でも毎日の手洗い、嗽^{うがい}などをするだけで風邪を予防することができる。何か一つでも毎日続ければ、自分自身の健康に結びつくことを痛感した。健康とはいかなる目的を果たすにも、一生共存していかなくてはならないものといえよう。

(ふくだ てつや
 仏教学科 第4学年)

私の健康の心得

王 娜



私は、中国の北京から来た留学生の王娜と申します。今回は、私の健康法を皆さんにご紹介したいと思います。

中国では“24時間の健康生活十一ヶ条”というものがよく知られていますが、皆さんはご存知ですか？それではご紹介しましょう。

1. 一日の活動は朝の目覚まし体操から
2. 一日2回規則正しい食生活
3. まず歩くこと。バス停留所4

往復が目安

4. 栄養のバランスを考えて昼食を摂ろう
5. 食事の後かならずお茶を飲もう
6. 趣味を生かしてストレス解消
7. 主食をおかずに、おかずを主食に（主食を少なめに、おかずを多めに食べる）
8. 淡泊な味でたんぱく質をたっぷり摂ろう
9. ゆったりした気分で風呂に入る
10. なごやかにくつろげる家庭の雰囲気大切にしよう
11. 一日の疲れをとるために寝る前のお休み体操をしよう

中国ではその十一ヶ条を守れば、健康で長生きをされると言われています。私の場合は、色々なことでいつも計画通りにできないので、長く続けることは難しいです。

しかし、私は子供のときから家族の影響でお茶を飲み続けています。そのお陰で病気は勿論少ないし、風邪をひくことも少ないです。

私がよく飲んでいるお茶は「花茶」です。中国にはお茶が1,000種類以上もあると言われていますが、その色や発酵度によって、緑茶、紅茶、黒茶、青茶、白茶、黄茶と大きく6つに分けることがで

きます。「花茶」は緑茶をベースにして、色々な花を丁寧にもみこんで香りをつけているものと、花だけのものと2種類あります。「花茶」には、菊花茶やハマナス茶、桂花茶、茉莉花茶、紅巧梅花、金蓮花、千日紅などがあります。

それでは、私が大好きな2種類をみなさんに紹介しましょう。まず、私が最もよく飲んでいるお茶の一つはジャスミン茶です。ジャスミン茶の一番の特徴は、ジャスミンの花に含まれる「香り成分」が、心身をリラックスさせてくれる働きがあることです。また、脂っこい食事との相性もよく、タンニン、カフェインなどの、お茶に含まれる成分が、胃にやさしく働きます。タンニンには殺菌効果、解毒作用などがあり、カフェインにはよく知られた覚醒作用のほかに、胃液分泌作用や、酔い覚ましなどの働きがあります。そして、私は家でいつも中華料理を作っています。中華料理は美味しいですが、脂っこいというイメージがあります。ジャスミン茶の香りは、食事の後の口に残っていた嫌な臭いや味を消してくれるので、食事の後に必ずジャスミン茶を飲んでいました。日本で中国料理店に入ると、よくジャスミン茶

が出されるのもその理由からでしょう。また、私の経験ではめまいと頭が痛い時に一杯のジャスミン茶を飲むと、気分が爽やかになり、気持ちが穏やかになります。

もう一つ、夏によく飲んでいるお茶は菊花茶です。菊花茶は小菊の花を乾燥させたものです。お湯を注いでから独特の苦味と甘味がゆっくりひろがります。そして、このお茶は解毒、解熱作用があり、眼にも良いと言われています。北京の方では、昔から風邪予防に効き目があるとして飲まれています。また、真夏には菊花茶を冷蔵庫に入れ、冷やして飲んでもとても美味しいです。

皆さん、これからは後期試験期間に入りますが、体に気をつけて頑張ってくださいね。朝、家を出る前や食事の後にぜひお茶を飲んでみてくださいね。飲んだあとには、私のリラックスできる気持ちが分かっていただけだと思います。

（おうな
博士後期課程哲学専攻
第1学年）

私の健康なんてどうでもいい

Didier Wester



最近、フランス政府は国民の喫煙率低下のために、新しくいくつ

かの対策を講じた。そのうちの1つは、タバコのパッケージの注意

書を変えたことだ。今までは小さな字で「タバコは心臓血管病の原

因となる」と書かれていたのだが、代わりに大きな字で「タバコはあなたを殺す」と書かれるようになった。しかし喫煙者自身は、タバコが健康に被害をもたらすこと、命の危険があることを、以前から知っていたはずだ。今さら注意書きを変えても、これだけで誰も禁煙するはずがないと思っていた。

だがそれから数日して、フランスの新聞に次のような話載っていた。8歳の女の子が急に号泣し、母親のタバコの箱を指さして「お母さんが死ぬという意味なの？」と聞いたという。フランスでは8歳ぐらいだと字を読めるようになったばかりなので、手当たり次第に何でも読む。今までの「タバコは心臓血管病の原因となる」というメッセージは子供には理解できなかっただろう。しかし新しいメ

ッセージは違う。8歳の子供も『殺す』という言葉が分かる。大人より子供にインパクトが強いメッセージと言えるかもしれない。そして結局、その母親は娘を安心させるために、タバコを止めたそうだ。

僕にもヘビースモーカーの時期があった。タバコで死ぬ可能性が強いということを知ってはいても、健康被害を実感するでもなく、健康のために禁煙するなど考えたことがなかった。ただ時々不安を感じることもあった。フランスの実家に帰省している時だ。母は僕の喫煙について一度も文句を言ったことがない。けれども、僕がタバコに火をつけるたびに母の目が悲しそうに曇った。一日何度もだ。僕の喫煙が母を悲しませていることがプレッシャーとなって、結局、

10年程前にタバコを止めた。自分の健康のためでは決してない。僕を心配する母のためだ。

多くの人々は、自分のためではなく他人のために生きている。自分の愛する誰かのために、自分を愛してくれる誰かのために。そしてその人たちは「自分はどうでもいい」と思っている。大事な人たちの健康は心配するが、自分の健康は無視している。しかしそれはちょっと違うと僕は思う。病気になって苦しむのは本人だけではない。周囲の人たちも同様に苦しむ。だから他人のために生きている人も、「自分はどうでもいい」などと思わずに、その大事な人たちのために、自分の健康を大切にしなければならないと思う。

（ディディエ ヴェステル
助教授 フランス語・フランス文化）



人 事

退職

依願退職

[事務系嘱託]

中村 祐子 (学生支援部)

2003年4月30日付

小林絵里子 (学生支援部)

2003年10月31日付

宅和 美枝 (教育研究支援部)

2003年12月31日付

[任期制助手]

橋田 尊光

2003年7月31日付

退職

[教育職員]

堀尾 孟 (教授・文学部)

2003年11月21日付

採用



事務系嘱託
(教育研究支援部)

大槻 静
(おおつき しずか)

2003年11月1日付

文学部第4学年鈴木恵子さん、第20回デフリンピック女子バレーボールチーム日本代表選手として選出

文学部社会学科第4学年、鈴木恵子さんが、来る2005年1月にオーストラリアのメルボルンで開催される第20回デフリンピック女子バレーボールチームの日本代表選手として選出されました。

デフリンピックとは、世界から聴覚障害者のスポーツ選手が集い、日頃の成果を競う、聴覚障害者のオリンピックです。2001年に開催されたイタリア大会では、日本代表女子チームは見事、金メダルを獲得しました。鈴木さんは、

その大会でも代表候補選手に選出されていましたが、選考会の日程が前期試験と重なっていたために辞退せざるを得ず、悔しい思いをしたそうです。

鈴木さんは「2連覇という周囲

の期待にプレッシャーを感じていますが、日本代表選手の一員として、金メダルを獲得するために頑張ります。」と、力強く意気込みを語ってくれました。(学生課)



鈴木恵子さん



大谷大学女子バレーボール部(前左から2人目が鈴木さん)

大谷大学博物館の開館と記念特別展の開催

大谷大学博物館は去る2003年10月7日(火)付けで博物館相当施設としての指定を受け、10月10日(金)には約150名の招待客を招いて開館式典および内覧会を行いました。また翌週10月14日(火)より11月30日(日)までの会期中、収蔵の国の重要文化財7点を中心とした開館記念特別展「古典籍の魅力ー大谷大学の名品ー」を一般公開しました。会期中に学内・校友をはじめ多くの方々が来館し、3600名余りの観覧者を数えました。展覧内容についても本格的な博物館として好評

を得る結果となりました。

10月18日(土)には本学教授・礪波護先生による特別講演会「古典籍の魅力」が開催されました。会場のメディアホールには補助席を設けるなどしましたが、満席となりました。講演では、特別展出品の拓本類や北京版大蔵経などについて、収蔵の経緯やその資料的価値などを詳しく講演され、満場の聴衆が熱心に耳を傾けました。また当日の観覧者は会期中の最多数の200名を越える盛況ぶりでした。

今後も展覧内容を充実していくよう努力していきますので、多くの来館者をお待ちしております。

(博物館)



礪波護教授

大谷学会研究発表会開催

10月22日(水)午後1時より、多目的ホールと講堂3階のラウンジを会場として、大谷学会研究発表会



研究発表会の様子

が開催されました。発表30分、質疑応答10分という限られた時間でしたが、以下の4人が日頃の研究の一端を発表されました。多目的ホールでの最初の三先生の発表後、場所をラウンジに移し、ピアノとフルートの伴奏で豊住先生が阿部幸明作の曲を歌う形で発表を行いました。これは今回初めての試みでしたが、たいへん好評でした。なお、題目・発表者は次の通りでした。

釈教歌発達の歴史的意義
本学専任講師 東館紹見
真宗教学の近代化と現在
—浄土理解の変遷を通じて—
本学助教授 木越康
殺人と自殺のあいだ
—犯罪の深層—
本学教授 間庭充幸
作曲家 阿部幸明の世界
本学教授 豊住征子
(大谷学会)

「留学体験を聞こう！」留学生文化交流会開催

去る、10月28日(火)午後4時10分より、響流館メディアホールにおいて、本年度第2回目の留学生文化交流会が開催されました。

今回は、「留学体験を聞こう！」と題し、本学に在籍している外国人留学生2名(韓国・タイ)と海外への留学経験のある学生3名(フランス・アメリカ・韓国・中国)に留学体験から学んだことや自国の文化等の違いについて発表していただきました。

発表後の質問タイムでは、留学経験者の実体験が聞けるということで、大勢の方からの質問と、それに対する明確な応答があり、

活発な意見交換の場になりました。

終了後、参加者にはアンケートを記入していただきました。「韓国と日本のトイレの違いがあることを知って驚いた。初めて聞くことばかりで新鮮に感じました。」「言葉や文化の違いによる壁がありながらも日本で生活し日本を気に入ってくれているということが伝わってきて嬉しくなった。目的をもって生きてるっていいな…と思いました。」「異文化理解も大切だけれども、まずは自国の文化や歴史的事柄、大学のことを知る必要があると思いました。」等、た

くさんの感想が寄せられ、参加者にとって有意義な文化交流会となりました。

なお、第3回留学生文化交流会「和菓子を創ろう！」(仮称)を、2004年1月末に予定しています。詳しくは学生課までお問い合わせください。
(学生課)



発表会風景

教職員を対象とする全学学習会開催

10月29日(水)午後4時10分より、メディアホールにて「教職員を対象とする全学学習会」が開催されました。この学習会は、一昨年の「人権教育推進委員会」(第1部会：部落差別、第2部会：民族差別、第3部会：障害者差別、第4部会：性差別)の発足にともない昨年より新たな形で始められ、本年からは学生にも広く参加が呼びかけられることになりました。

当日は、まず第2部会所属の山

下憲昭先生が、「外国人労働者をめぐって—八日市市の場合—」と題し、滋賀県八日市市での調査にもとづき、外国人労働者の就業・生活の状況や教育をめぐるとの問題を報告され、地域住民との交流を通じたソーシャル・コンクルージョンの重要性を説かれました。次に第3部会からは、部会の取り組みである「障害者の人権を語り合う会」についての報告がありました。初めに加治洋一先生から経過

が報告された後、3名の学生(修士課程2年頼尊恒信さん、文学部3年難波教行さん、科目等履修生白石祐人さん)から意見の提示があり、教職員と学生の「協働」に際し、障害をもつ人や支援に携わる人の視点を尊重することの大切さが指摘されました。全学を挙げて人権問題を考えてゆく場としての本学習会の意義が、改めて実感されたひと時でした。

(人権センター)

首都師範大学学長が小川学長を表敬訪問

10月30日(水)、今年4月の訪問に続き、本学学術交流協定校の首都師範大学(中国・北京)から学長始め3名の先生方が小川学長を表敬訪問されました。

お見えになったのは許祥源学長、宮輝力資源環境与旅行学院院长、張立新外国語学院日語系副主任で3名とも今回が初めての本学訪問でした。

本学と首都師範大学は1997年に学術交流協定を締結して以来、研究者や学生の交流を重ね、最近では、昨年、首都師範大学での小川学長の講演や、今春の首都師範大学の本学訪問など特に活発な交流が続いています。

今回の協議では、来年の国際交流科目の短期中国語研修を新たに首都師範大学で実施すること、学生交流として首都師範大学の大学院生を本学の外国人留学研究生に受け入れることなどが話し合われ合意に至りました。今後、本学生が首都師範大学への留学も望まれるところです。

訪問当日は、協議に先立って開館したばかりの博物館を始め、図書館、総合研究室等を熱心に見学されました。総合研究室では本学の中国人留学生に気軽に声を掛けられ、笑顔で話をされる場面もあり、許祥源学長の気さくな人柄がおうかがいできました。許祥源学

長は応用物理学がご専門ですが、仏教や宗教に対しても非常に関心をお持ちで、小川学長との懇談会の席では科学と仏教を話題に和やかな会話が繰り広げられました。これまでの両校の交流をふまえ、今後ますます友好を深め交流を推進していくことを確認した今回の表敬訪問でした。

(教育研究支援課)



近隣の皆様方との懇談会開催

11月6日(木)午後5時30分より多目的ホールにおいて、近隣の皆様方との懇談会が開催されました。



懇談会の様子

この懇談会は、毎年学園祭の初日に行われる「園遊会」に併せて、大学が日頃お世話になっている近隣の皆様を大学に招待し、学園祭をともに楽しんでいただき、また大学をより理解していただく場として開催しているものです。今年は、懇談会に先立ち、10月にオープンした博物館を見学していただきました。

懇談会では、学長より、この度

オープンした博物館は、この地域の博物館としては是非皆様にかわいがって頂きたい。また、近隣の皆様と共に地域に根ざした大学として在り続けるため、今後も一層の努力を積んで行く旨挨拶がありました。続いて北大路商店街振興組合副理事長の川村周二様より乾杯のご発声をいただき、和やかな雰囲気でした。懇談に花が咲きました。

(総務課)

宗教シンポジウム開催

第103回紫明祭期間中の11月9日(日)午後1時30分より、本学2301教室を会場に宗教シンポジウムが開催されました。本学教職員、学生、一般来聴者など多数の参加があり、「現代に宗教を生きる」を総合テーマとして、日本仏教学ご専門の東京大学大学院教授・末木文美士氏と、本学哲学科(宗教学)

の門脇健教授とがそれぞれの立場から基調講演をなされました。

講演終了後の質疑応答の時間では、活発な意見交換があり、「現代」「宗教」「生きる」という3つのキーワードの持つ意味について考えさせられるシンポジウムとなりました。

(学生課)



末木文美士教授(左から2人目)と門脇健教授(中央)を囲んで

私学フェスティバル2003開催される！

2003年11月16日(日)、晴々とした青空と紅葉に彩られた本学キャンパスにて、「私学フェスティバル2003」が開催されました。

このフェスティバルは今年で5年目を迎え、京都や他府県の私立・公立中高生が学校間の垣根を超え集まり開催する大きな文化祭です。昨年度は京都産業大学で3万人を超える来場者があり、本年度も本学キャンパスを埋め尽くすほどの人が来場しました。

メインステージでは太陽族のラ

イヴが会場を盛り上げ、学内では100店舗にも及ぶ模擬店・フリーマーケットが賑わいを見せました。また、体育館ではフットサル・ソフトバレーボール・卓球・3on3の各種大会が開かれ、東西両キャンパスとも大いに盛り上がりました。

その他、学生企画の合同吹奏楽・1000人群舞・パレード・手話合唱も行われ、会場や周辺は常時熱気に包まれていました。

また、体育館北側壁面には

「wish」と書かれた巨大な旗が掲げられ、学生たちの熱い思いが表現されました。(企画室)



1000人群舞の様子

大学報恩講の厳修

11月27日(木)午前10時より講堂において、学外、学内から多数の方々が、ご参集され、大学報恩講並びに歴代講師謝徳法要が挙行されました。

宗祖親鸞聖人の絵像と歴代講師の肖像画が掲げられた講堂で、学



名畑崇本学名誉教授

長を導師として『正信偈』を全員で唱和して報恩講を厳修した後、引き続き歴代講師謝徳法要に移り、『阿弥陀経』の読経のなか、来賓はじめ教職員、学生の代表がそれぞれ焼香を行いました。

法要の後、《念仏停止と「くせごと」私考—法勝寺塔の焼失をめぐって—》と題して本学名誉教授である名畑崇先生の記念講演が行われました。念仏停止とは、承元元年(1207)、法然の念仏教団に対して行われた、国家による弾圧を指します。先生は、その翌年の承元2年(1208)、国家の象徴と

もいえる法勝寺の九重塔が焼失するという出来事に注目され、当時の人々に去来する思いを想像豊かにお話くださいました。その中で親鸞の弟子への手紙に注目され、親鸞は「世のなか安穏なれ 仏法ひろまれ」と語っているように、念仏の教えが国中に広く開かれていくことを、願っていたのだということをお話くださいました。

その後、食堂に会場を移して小豆粥のお齋を全員でいただきました。(総務課)

第8回大谷大学同窓会ホームカミングデー開催

第103回紫明祭開催期間中の11月8日(土)、本学を会場に同窓の里帰り「第8回大谷大学同窓会ホームカミングデー～谷大への誘い、同窓の集い～」が開催されました。

第I部では、響流館のメディアホールにおいて、佐々木教悟同窓会会長の挨拶のあと、延塚知道学監・文学部長の大学現況報告があ

り、続いて草野顕之教授より「蓮如上人と山科」と題して記念講演がなされました。また、第II部の懇親会は、会場を博綜館第1会議室に移し、名誉教授をはじめ、退職された先生方や本学教員約50名の出席のもと、全国から約150名の同窓会員が参加されました。

会場では、日頃お会いすることができない恩師・友人との懇談や

記念撮影等があり、大変にぎやかな懇親会となりました。

(校友センター)



草野顕之教授

信越・関東地区父母兄弟懇談会を開催

去る12月5日(金)・6日(土)、ホテルメトロポリタン長野(長野市)および新宿ワシントンホテル(東京都新宿区)において、信越・関東地区父母兄弟懇談会が開催されました。

父母兄弟懇談会は、毎年度数地区において教育後援会員(在学生の父母兄弟)の皆さまを対象に、本学をより一層ご理解いただく機会として開催されており、大学とのコミュニケーションを密にするとともに、教育後援会員の皆さま

相互の親睦を図ることを目的としています。

各会場とも懇談会では、佐藤亨教育後援会会長ならびに小川一乗学長の挨拶のあと、大学の現況報告、個別相談が行われ、学生生活や成績・進級、卒業後の進路について、熱心に相談をされていました。また、関東地区父母兄弟懇談会での懇親会は、同ホテルにおいて開催された大谷大学同窓会関東地区支部長会と合同で開催され、終始なごやかな雰囲気の中、教

育後援会・同窓会・大学相互の交流が深められました。

(校友センター)



懇談会の様子

“人権問題を共に考えよう” 全学学習会開催

12月10日(水)午後4時10分より、講堂にて「人権問題を共に考えよう」全学学習会が開催されました。今回は「福祉と人権」をテーマに、知能に重い障害をもつ子どもの施設、止揚学園(滋賀県能登川町)のリーダー福井達雨先生



福井達雨氏と止揚シスターズ

をお迎えし、「ゆっくり歩こうなあ」と題する講演をお聴きしました。

福井先生は、止揚学園の歩みを、障害をもつ人ともたない人が、サービスをする側とされる側ではなく、“ぶつかって一つになり次の段階に進む(=止揚)”ことをめざしてきたと語られ、その中でご自身の福祉に取り組む視点が育てられたことを話されました。そして、現在の日本の福祉が、障害をもたない人の視点から、“強い障害者”を取り上げ、“弱い障害者”を切り捨てる方向に向かっている

こと、強い者と弱い者との間で“与える”“もらう”という関係が強まり、優しさや支え合いが失われつつあることを、駅のバリアフリー化や老人の孤独化などの例から厳しく指摘されました。また講演の間には、学園の先生方による「止揚シスターズ」の歌が入り、「愛、優しさ、心がなければ人間は生きられない」という福井先生の講演の内容が、分かりやすく美しく歌い上げられてゆきました。真摯で熱のこもったお話と歌声に、聴衆は最後まで熱心に聞き入っていました。(人権センター)

課外教育行事-異文化との出会い- ワールドミュージック「Aboriginal Soul/5万年の伝統」開催!

去る12月12日(金)本学講堂にて、オーストラリア先住民アボリジニによる公演をオーストラリア・ノーザンテリトリー政府観光局の後援で開催しました。

ノーザンテリトリー・エルコ島ガリウィンコより、ヨルング族の伝統文化継承者3名を現地より招聘しました。今回が初来日となった彼らは、居住保護区域で元来の狩猟採取を中心とした生活を送っています。

公演では、世界最古の管楽器と言われるイダキ(ディジュリドゥ)の演奏とパフォーマンスを披露していただきました。また、日本のNo.1プレーヤーである哲J(上野哲路氏)にスペシャルゲストとして参加していただき、ヨルング族やイダキの解説、演奏をしていただきました。

ヨルング族の中でもガリウィンコに住む彼らのパフォーマンスは、オーストラリアでもほとんど

見ることはできないと言われており、大変貴重な時間を過ごすことができました。(学生課)



パフォーマンスの様子

フェスティバル幼教2003開催

幼児教育科のフェスティバルが、12月20日(土)講堂において催されました。今年は「子どもたちに夢を」というテーマを掲げ、新たにゼミ単位で演目に取り組む形式で行われました。

第1部は、大谷幼稚園児をはじめ、ご案内した近隣の幼稚園・保育園、実習先の園児を対象とした内容となりました。第2学年有志によるマーチングで始まり、歌やゲーム、ミュージカルなどの発表でした。

第2部は、午後2時から5時ま

で。ダンスに始まり、ピエロのステージ、和太鼓、チアリーダー、ソーラン節など盛りだくさんな内容で、おとも子どもも共に楽しめるものでした。

今年度から第1学年は、2学年

のゼミに参加する形で先輩たちの発表をサポートしました。忙しい中での発表でしたが、来てくださった方々にも学生の熱い思いが伝わったのではないかと思います。

(幼児教育科)



インターンシップに参加しませんか。

大学卒業後の進路を考える時、自分にはどんな職業が向いているのか考えたことがありますか。

そんな方に最適のインターンシップ (internship) という制度があります。

インターンシップとは、学生が在学中に企業などにおいて就業体験をする、産学協同のプログラムを指します。「学生が在学中に自らの専攻、将来のキャリアに関連した就業体験を行うこと」として幅広く捉えられており、2週間程度の実習を行うものや、1年間の長期にわたるものなど多様なスタイルがあります。

この体験を持った学生のおほとんどが、社会を学ぶとともに、自らを発見する場となり、通常の大学での学びや将来の職業選択に大きな影響を受けています。また、通常の学びの成果を企業や団体に提案する機会としても有効であり、イベントを企画したり、事業化を担当した学生もいます。また、企業にとっては、学生ならではの斬新な意見などが事業改良に役立ったり、実習生の指導をすることによる意識の向上などが期待できるなど学生・企業双方にとっての効果을期待し、産学連携して事業に取り組んでいます。

しかし、個人や大学として直接企業と交渉することには困難が伴うことが多く、京都では、京都にある51の大学・短大と自治体などが連合して組織する「大学コンソーシアム京都」が窓口となってインターンシッププログラムを実施しています。コンソーシアムではコーディネーターの指導による研修プログラムに従い実施されますので、より効果的な就業体験を持つことができます。

コンソーシアムのプログラムは、ビジネスコース、行政コース、NPOコース、ベンチャーコースの4コースが設定され、多くの企業の協力をえて、様々な業種に昨年度は500名以上の学生が参加しています。

インターンシップへの参加は、個人が直接コンソーシアムに申し込むことにはなりますが、4月に各大学において説明会が開催されることになっています。進路選択に悩む前に、まずは説明会に参加してみよう。

大学コンソーシアム
インターンシップコーディネーター
大谷大学教授

佐賀枝 夏文

事務窓口ホームページ化への取り組み ～「学生向け情報提供システム」内に【就職支援】メニューを追加！～



《学生向け情報提供システムトップページ》

《就職支援トップページ》

【就職支援】メニューとは？

企業からの求人やセミナー案内が大学に送付されたものは、進路就職センター内のみでの閲覧でしたが、以下のようなことが可能となります（1月8日(木)より順次公開予定）。

1. 求人検索が可能となりました！

- ①業種・職種・勤務地などを元に検索し、リストアップすることができます。また、進路就職センターが持っている企業データ（本社住所・業種など）を検索することも可能です。
- ②【パーソナル情報登録】で検索項目を個人別に登録すると優先的に最新の情報を引き出すことができます。

2. 求人票が閲覧可能です！

企業から実際に送付された求人票をPDF形式で閲覧できます。

3. 企業から連絡のあった説明会や、企業への就職実績を確認できます！

求人・企業検索をした場合に進路就職センターで所有している情報・データを閲覧できます。



《求人情報検索ページ》

●進路就職センターより

今までの求人票は、進路就職センター内でのみ閲覧可能でしたが、今後は自宅においても閲覧できます。つまり、必要なときに必要な情報を常に引き出せるので、みなさんの就職活動に、力強い味方となるでしょう。また、Uターン就職を考えている学生には、特に有効なシステムです。様々な使い方で、これからの就職活動を攻略してください。



《検索結果》

《事業所情報》



《求人票PDF》

今後の予定

「学生向け情報提供システム」では、昨年同様、一般掲示板において定期試験情報・卒業（修了）判定・進級判定・卒業論文提出資格有無の一覧を公開します。また、一般掲示板だけでなく、個人掲示板にも年度末・始めには様々な情報が提供されますので、確認してください。

OUNETから

Web Mail サービス開始

OUNETでは、12月15日からWeb Mailのサービスをスタートさせました。

Web Mailは、インターネット・エクスプローラやネットスケープなどのWebブラウザを使ってメールの送受信をするシステムです。

今までは、学内からのメールの送受信に限定されていたため、学外からもメールの送受信をしたいとの要望を多数いただいております。

Web Mailの導入によって、これからは、学外からもメールを送受

信することが可能になりました。

また、Web Mailを利用すれば、日本語の使用環境があるパソコンを使用して、海外からもメールを送受信することができます。

Web Mailを利用する

① Web Mailにアクセスする。

Web Mailへのアクセスは、大谷大学のホームページ上から行います。

大谷大学のホームページのトップページにあるボタン（右画面、楕円で囲まれた部分）をクリックしてください。（人文情報学科の学生には専用ボタンが設定されています。注意してください。）

② Web Mailにログインする。

Web Mailにアクセスすると、ログイン画面が現れます。

「ユーザID」欄には、メールアドレスの@記号の前の部分を入力してください。

「パスワード」欄には、大学で使用しているパスワードを入力します。

③ メールを送受信する。

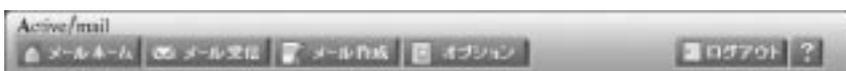
ログインすると、Web Mailのトップページが現れます。

メールの送受信には、この画面最上部にあるボタンバーを利用します。

さあ、ここからは感覚的に利用できるはずですが、それでも、困ったときには、ボタンバー右端にある「？」マークをクリックしてください。ヘルプ画面が現れます。



大谷大学ホームページ <http://www.otani.ac.jp>



Web Mail トップページ ボタンバー

Web Mail利用上の注意

Web Mailは学内から利用できません。

学内からは今までどおり、メールソフトを利用してください。

ユーザID、パスワードの管理は自己責任で。

学外で利用するので、ユーザID、パスワードの管理には充分気をつけてください。覚えられないからメモをするなんていうのはもってのほかです。

終了する時は、必ず「ログアウト」をクリック。

インターネットカフェなど、多人数で利用するPCでログアウトを忘れると、他の利用者がメールを送受信することになります。

アドレス帳は学内環境とは異なります。

学内のメールソフトに登録しているアドレスを参照することはできません。再度Web Mailに登録してください。

学問のしおり

大教室の、「おいしい授業」と学生内で評判の授業光景——初日は受講カード提出にわんさか押しかけ、以後はほとんど出席せず、テキストはむろん買わず、クソまじめに購入した友人に頼みこんで試験に出そうなところだけコピー（万一教師から「本は？」と聞かれたなら、「今日は忘れました」や「今金ないんです、そのうち買います」という金句がある）、そして定期試験当日は初日同様わんさか押しかける。うわさによると、ある国立大学の某教師は学年末の定期試験会場で「はじめまして、私がこの科目の担当の誰々です」と言い、またある私立大学の教師が試験に出した一問は「この科目担当の私は以下5人の写真のうちどれか、○をつけよ」である。嘆く教師に対する学生の言い分。誰が講義なんか出るか！教壇の椅子にどっかと座り、学生がどうしてるか全然気にせず、顔も上げずにもくもくとテキストを読むだけなら、機械人間そのものじゃないか。本読むだけなら一人でもできらあ。

早稲田大学のある学部では、大教室の講義の成績評価として出席を最重視し、学生に授業に来させている、と数年前新聞で読んだ。そこで、私はこの出席重視法を、「英文学概論」（以下「概論」）で適用することにし、以下

の規則を付け加えて、有無も言わず毎年実行している。すなわち、座席指定で毎週出欠をとり3回休んだ時点で抹消して席を詰める、私語だめ、昼寝だめ（机に顔伏せて寝た場合は10点減点かマイクで自己紹介させる）、エスケープOK（見つけた場合は即抹消だから）、携帯は鞆にしまう（実際にはわたしの目を盗んでメールしてる輩がいるらしい）、テキストは毎年3000円以上で買わなければ受講完全拒否。成績評価は出席が40点（1回休むと10点減点、遅刻は30分までで3点減点か、欠席扱い）、試験が60点（テキストのみ持ち込み可で、3点問題を20問）。このような厳しいことが実行できるのは「概論」が、文学科英文専攻生（1学年2～30人）以外は、必修でなく選択科目だからである。選択権は学生側にあり、この規則が合わない学生は受講をさけるであろう。

今年度前期の「概論」風景を紹介してみたい。奮闘は初日の講義から始まる。4月11日金曜日3講時1号館定員数300名の1213教室。入室できず外の通路にたむろする学生たちを中に詰め込むのに一苦勞。全席埋めても数人立ったまま。で、いかに規則が厳しいかを脅しに脅してから、受講カードを出させる。提出されたカード数は317枚。2回目の授業（4.18）では、



ゼミ生用
米本バッジ

英文学概論奮闘記！

米本 義孝



教室戸口でチェックしテキストを持参した初回のカード提出者（283人）から入室させる。初回到カード提出した2回目の欠席者は放棄と考え、テキスト持参で2回目から出席の学生を調整して、受講生を300人にした。3回目（4.25）は、いよいよその300人の学生を学年と学科別にした座席決め。半期一回の恒例の席決めは丸々90分かかり、これが大げさに伝わり毎週出欠とる時間をかけすぎと噂されるゆえんだ。欠席が少ないため毎週出欠とる時間は15分程度……やっぱ、かかりすぎか。でも、座席指定のため隣同士知り合って話できる喜びが学生には毎週ある。実質登録308人で、4回生27人、3回生100人、2回生130人、1回生51人（国際文化学科138人、文学科137人、その他の学科33人）。テキストは文栄堂で冊数の限定販売にしたので、完売で買えない学生は学外書店や直接電話した出版社から購入したという。そこで教務部に頼み、補助机を3脚ほど出してもらった。7月25日の前期試験受験者は、放棄、抹消者の14人を除く、294人であった。A評価が6～7割なのは、そのほとんどの学生が無欠席（出席点40）だからだ。受講生が300人になるのは、同じ学生が、ときには要卒単位に関係なく、2年、3年と続いて受講するから。

「書いたものがすべて」をひょうぼう標榜とする私には、わかりやすく良質の「一般書」を書いてみたいという願望がある。一般向けの書に読者たちの目を向けさせる——これが最大の課題だ。その試練が、英文学に関係のない学生たちの集まる「概論」なのだ。『広報』や紫明講座を喜んで引き受けるのもそのためである。対象作品から歴史、文化、民族性を徹底的に探って普遍性を考えるという平凡な講義内容そのものに、どういうレベルでどういう論の展開だったら興味をもって聞いてくれるであろうか。不熱心なさぼり屋たちをどうしたら休ませずに興味をもたせられるか。3回生のKや2回生のTのような学生を欠席させたり昼寝させたら私の負けだ。学生間の通路に講義中立ちづめで、右手にワイヤレスマイク、左手にテキスト（ハードカバー本の場合は重いからそのコピー）を持って、常に学生の動向を見ながらの講義スタイルは、これからも続けたい。なお、これ読んで授業に興味もった人はどうぞ金曜3限1213教室へ。窓際1列目の前の方だけ空いているので、そこに座って下さい。ところで、学生時代さぼり屋だった私の「英米文学概論」の成績評価は……42点で不可！

（よねもと よしたか 教授 英文学）

紫明祭を終えて

学園祭実行委員会

委員長 要田 憲人



第103回学園祭も大きな問題ひとつ起こることもなく、無事終えることができました。これは参加された皆様一人ひとりがルールをしっかりと守り、協力して頂いたおかげであると思います。本当に皆様一人ひとりに助けられ、大いに盛り上がった学園祭でありました。僕自身も、今年度の学園祭では本当にたくさんの楽しさと大きな経験を得ることができました。

今年度は「風樹～風は未来に吹く～」というのが学園祭のテーマでした。皆様いかがでしたか？それぞれの風を吹かせることができたでしょうか。最後の挨拶の時も

申しましたように、この学園祭をどのように思ったかは一人ひとり違うはずですが、その想いの一つひとつを次の学園祭へと全員でつなげていくことで、また学園祭は成長していくはずですが、そして、今後の生活においても一つのきっかけとして一人ひとりの中で活かしていくことができるだろうと思います。そのような学園祭であったならば、今年度の学園祭は一人ひとりにとっての成功と言えるでしょう。

今年も学園祭を作り上げるにあたって大勢の地域社会の皆様や大谷大学の関係者の皆様に協力して

頂きました。僕たちが楽しく学園祭を作り上げ、そして楽しく期間中を過ごすことができたのも、このような皆様の協力があったからです。本当に有難うございました。そして共に学園祭を作り上げたスタッフのみんな、部員さんとして実行委員会に協力してくれた各サークル団体の皆さん、警備にご協力して頂いた体育会の皆さん、そして僕たちを支えて頂いた学生課の皆様、本当に有難うございました。僕は、この貴重で心から楽しかった想いと一人ひとりの人間との関りを忘れずに、これからの大学生活を楽しく有意義に過ごしていきたいと思います。そして来年の学園祭を心から楽しみにしています。一人ひとりが成長した姿で、また次の学園祭を楽しく迎えましょう。

(ようた のりひと)
社会学科 第3学年





2003年度 秋季大会結果 —団体成績—

クラブ名	日 程	対 戦 校	結 果	会 場
サッカー部 関西学生サッカー連盟秋季リーグ Ⅱ部Bブロック7位	9月15日(月)	神戸大学	○ 2-1	大谷大学湖西キャンパス
	9月20日(土)	龍谷大学	△ 2-2	〃
	9月23日(火)	奈良産業大学	△ 1-1	大阪教育大学
	9月28日(日)	大阪教育大学	● 0-3	奈良産業大学
	10月5日(日)	京都産業大学	● 1-5	大谷大学湖西キャンパス
	10月11日(土)	姫路獨協大学	● 1-2	〃
	10月13日(月)	佛教大学	● 0-2	龍谷大学
	10月19日(日)	神戸商科大学	○ 2-1	大谷大学湖西キャンパス
	10月25日(土)	大阪経済法科大学	○ 2-1	〃
	硬式野球部 京滋大学野球連盟秋季リーグ戦 Ⅰ部6位	9月6日(土)	京都学園大学	● 0-9
9月7日(日)		〃	● 2-4	〃
9月13日(土)		滋賀大学	● 0-4	草津グリーンスタジアム
9月14日(日)		〃	● 3-4	守山市民球場
9月27日(土)		花園大学	○ 10-3	西京極球場
9月28日(日)		〃	● 3-8	〃
9月29日(月)		〃	● 1-2	〃
10月4日(土)		京都教育大学	○ 6-0	草津グリーンスタジアム
10月5日(日)		〃	● 1-2	京都学園大学
10月6日(月)		〃	○ 4-3	草津グリーンスタジアム
10月11日(土)		佛教大学	● 2-7	佛教大学
10月12日(日)		〃	● 3-7	太陽が丘球場
Ⅰ部-Ⅱ部 入替戦 2敗 Ⅱ部降格		10月25日(土)	京都創成大学	● 0-1
10月26日(日)	〃	● 1-2	滋賀県立大学	
ソフトテニス部(男子) 関西学生ソフトテニス連盟 秋季リーグ戦 V部Cクラス2位	10月26日(日)	大阪府立大学	● 1-4	大阪府立大学
	10月26日(日)	京都教育大学	○ 5-0	〃
	10月26日(日)	摂南大学	○ 4-1	〃
ソフトテニス部(女子) 関西学生ソフトテニス連盟 秋季リーグ戦 V部Dクラス2位	10月25日(土)	京都外国語大学	○ 3-0	京都外国語大学
	10月25日(土)	奈良教育大学	● 0-3	〃
	10月25日(土)	羽衣短期大学	○ 不戦勝	〃
バスケットボール部(男子) 関西学生バスケットボール連盟 秋季リーグ戦 Ⅲ部8位	9月6日(土)	京都学園大学	○ 69-67	大谷大学本部キャンパス
	9月7日(日)	大阪市立大学	● 54-65	〃
	9月13日(土)	京都工芸繊維大学	● 54-61	神戸商科大学
	9月14日(日)	佛教大学	● 52-79	〃
	9月20日(土)	神戸商船大学	○ 118-50	〃
	9月21日(日)	京都教育大学	○ 86-79	〃
	10月4日(土)	大阪芸術大学	○ 84-62	〃
	10月11日(土)	神戸商科大学	● 45-75	大谷大学本部キャンパス
	10月12日(日)	追手門学院大学	● 76-77	〃
バスケットボール部(女子) 関西女子学生バスケットボール連盟 リーグ戦 Ⅲ部Cブロック6位	8月12日(火)	兵庫教育大学	● 44-48	京都精華大学
	8月14日(木)	大阪外国語大学	● 46-71	桃山学院大学
	8月17日(日)	滋賀県立大学	○ 65-54	大阪大学
	8月21日(木)	奈良教育大学	● 37-85	京都精華大学
	8月23日(土)	大阪大学	● 56-107	大阪大学
	8月24日(日)	大阪市立大学	● 70-84	大谷大学本部キャンパス
バレーボール部(男子) 関西学生バレーボール連盟 秋季リーグ戦 VI部優勝 V部昇格	9月21日(日)	大阪市立大学	○ 3-1	大谷大学本部キャンパス
	9月23日(火)	流通科学大学	○ 3-0	〃
	9月28日(日)	京都外国語大学	○ 3-0	京都創成大学
	10月5日(日)	大手前大学	○ 3-0	大手前大学
	10月12日(日)	阪南大学	○ 3-0	京都大学
	10月19日(日)	大阪府立大学	○ 3-2	大阪大学
	10月26日(日)	大阪国際大学	○ 3-0	京都大学
バレーボール部(女子) 関西学生バレーボール連盟 秋季リーグ戦 VI部2位	9月21日(日)	奈良女子大学	● 1-3	奈良女子大学
	9月23日(火)	大阪芸術大学	○ 3-1	〃
	9月28日(日)	京都光華女子大学	○ 3-0	〃
	10月5日(日)	桃山学院大学	○ 3-0	大阪芸術大学
	10月12日(日)	神戸外国語大学	○ 3-1	奈良女子大学
	10月19日(日)	花園大学	○ 3-1	大谷大学本部キャンパス
	10月26日(日)	神戸女子大学	○ 3-0	神戸外国語大学
	11月2日(日)	神戸大学	● 1-3	関西外国語大学

クラブ名	日程	対戦校	結果	会場
バドミントン部(男子) 関西学生バドミントン連盟 秋季リーグ戦Ⅵ部Bブロック5位	10月4日(土) 10月5日(日) 10月5日(日) 10月12日(日) 10月12日(日)	関西福祉科学大学 京都外国語大学 姫路工業大学 和歌山大学 帝塚山大学	● 2-3 ● 1-4 ● 0-5 ● 2-3 ○ 4-1	大谷大学本部キャンパス 〃 〃 帝塚山大学 〃
バドミントン部(女子) 関西学生バドミントン連盟 秋季リーグ戦Ⅳ部Bブロック5位	9月27日(土) 10月4日(土) 10月4日(土) 10月5日(日) 10月11日(土)	滋賀大学教育学部 佛教大学 和歌山大学 大阪市立大学 大阪大学	● 2-3 ● 1-4 ○ 3-2 ● 1-4 ● 1-4	滋賀大学 大谷大学本部キャンパス 〃 大阪市立大学 大阪大学
順位決定戦 2勝1敗 Ⅳ部残留	10月14日(火) 10月15日(水) 10月17日(金)	京都府立大学 和歌山大学 京都大	● 2-3 ○ 3-0 ○ 3-2	大阪市立東淀川体育館 〃 〃
卓球部(男子) 関西学生卓球連盟秋季リーグ戦 Ⅳ部Aリーグ 4位	9月2日(火) 9月2日(火) 9月3日(水) 9月4日(木) 9月6日(土) 9月6日(土)	京都府立大学 大阪府立大学 和歌山大学 大阪市立大学 桃山学院大学 姫路獨協大	○ 3-2 ● 0-3 ● 2-3 ● 0-3 ○ 不戦勝 ○ 不戦勝	なみはやドーム 〃 〃 〃 伏見港公園総合体育館 〃
卓球部(女子) 関西学生卓球連盟秋季リーグ戦 Ⅲ部Aリーグ 2位	9月2日(火) 9月3日(水) 9月3日(水) 9月4日(木) 9月6日(土)	京都教育大学 京都光華女子大学 大阪市立大学 天理大学 武庫川女子大	○ 3-1 ○ 3-1 ● 2-3 ○ 3-0 ● 1-3	なみはやドーム 〃 〃 〃 伏見港公園総合体育館
ラクロス同好会 関西学生ラクロス連盟西日本支部リーグ戦 Ⅲ部Bブロック 3位	8月16日(土) 9月7日(日) 10月12日(日) 10月18日(土)	奈良女子大学 甲南女子大学 神戸海星女子大学 神戸薬科大学	● 9-12 ● 1-17 ○ 17-5 ○ 23-0	鶴見緑地球技場 大泉緑地球技場 浜寺第2球技広場 〃
アメリカンフットボール同好会 関西学生アメリカンフットボール連盟 秋季リーグ戦Ⅲ部Dブロック 4位	8月31日(日) 9月14日(日) 10月12日(日) 11月1日(土)	京都外国語大学 京都府立大学 大阪国際大学 大阪商業大	● 0-48 ● 0-35 ○ 14-0 ● 0-41	万博球技場 〃 兵庫医科大学総合グラウンド 万博球技場

2003年度 秋季大会結果 一 個人成績

□硬式野球部

〈京滋大学野球連盟秋季Ⅰ部リーグ戦〉
於 太陽が丘球場他(8月30日~10月26日)
打撃ベストテン 第5位 岩本 真次
(文学部 人文情報学科 第2学年)
ベストナイン賞 三塁手 岩本 真次
(文学部 人文情報学科 第2学年)

□跆拳道部

〈関西テコンドー選手権〉
於 なみはやドーム(9月7日)
フィン級
優勝 和泉 侑証
(文学部 仏教学科 第3学年)
2位 佐竹 融
(文学部 哲学科 第3学年)
3位 林 俊
(文学部 人文情報学科 第2学年)
フェザー級
3位 大坪 倫子
(短期大学部 文化学科 第2学年)

□バドミントン部

〈京都学生バドミントン選手権大会〉
於 京都産業大学(11月2日~9日)
女子シングルBクラス
優勝 菅野 友香
(文学部 文学科 第3学年)

□空手道部

〈第19回綴喜空手道競技大会〉
於 宇治田原町住民体育館(10月12日)
形競技一般の部
優勝 山川 慎司
(文学部 文学科 第3学年)
組手競技一般の部
優勝 山川 慎司
(文学部 文学科 第3学年)
組手競技女子一般の部
優勝 今出 由起子
(文学部 社会学科 第3学年)

□ラクロス同好会

〈関西学生ラクロスリーグ戦〉
於 鶴見緑地球技場他(8月16日~11月24日)
Ⅲ部Bブロック得点王 岡本 典子
(文学部 社会学科 第3学年)
Ⅲ部ベスト12 吉川 美緒
(文学部 史学科 第3学年)
Ⅲ部ベスト12 石田 未帆
(文学部 文学科 第3学年)

年度末・年度始の日程

2003（平成15）年度末

後期試験

1月21日(水)～2月2日(月)

入学試験一般入試 [第1期]

短期大学部 (全学科)

2月4日(水)・5日(木)

文学部 (全学科)

3教科型 2月4日(水)・5日(木)

2教科型 2月6日(金)・7日(土)

入学試験 (大学院春季)

2月27日(金)・28日(土)

入学試験

(文学部第3学年一般編入)

2月28日(土)

入学試験一般入試 [第2期]

文学部 (全学科)

3月7日(日)午前

短期大学部 (仏教科・文化学科)

3月7日(日)午後

卒業証書・学位記授与式

3月18日(木)

2004（平成16）年度始め

入学式

4月3日(土)

オリエンテーション

4月3日(土)～9日(金)

前期授業開始

4月12日(月)

聴講登録表提出期間

4月15日(木)～19日(月)

教務部

修士論文・卒業論文の口述試問等の日程

2003年度提出の修士論文・卒業論文について、口述試問を次のとおり実施します。日程発表日に『教務部①』掲示板で時間等をお知らせしますので、各自確認のうえ口述試問を受けてください。

	日程発表日	試問期間
修士論文	1月8日(木)	1月13日(火)～1月23日(金)
卒業論文	1月19日(月)	1月21日(水)～2月2日(月)

後期試験について

今年度後期試験は、1月21日(水)より2月2日(月)までの期間に実施します。試験方法、時間割等詳細は、1月8日(木)に教務部掲示板及び大学ホームページ「情報提供システム」にて発表します。

後期追試験について

病気・不慮の事故等の事由で後期試験を受けられなかった学生について、次のとおり追試験を実施します。(詳細は『履修要項』で確認すること。)

1. 受験願受付期間

当該試験実施日から1週間以内

(ただし、今年度は1月29日(木)～2月2日(月)が試験日の科目は、2月4日(水)が受付締切日となります。出願には十分注意してください。)

2. 試験日

2月12日(木)・13日(金)

真宗大谷派教師修練・補任式について

後期修練 (文学部第4学年・短期大第2学年主対象)

第1班 2月8日(日)～2月14日(土)

第2班 2月18日(水)～2月24日(火)

第3班 2月25日(水)～3月2日(火)

第4班 3月4日(木)～3月10日(水)

前期修練 (短期大第1学年主対象)

第1班 3月13日(土)～3月19日(金)

第2班 3月23日(火)～3月29日(月)

教師補任式 (全学合同)

3月19日(金)午前中に挙行されます。式の時間等詳細は2月27日(金)に教務部掲示板にてお知らせします。

修了・卒業予定者氏名、並びに諸資格（教職・保育士・大谷派教師・学芸員）単位修得可否の発表について

2月27日(金)午前10時に学内掲示板にて発表します。卒業・修了予定者については大学ホームページ「情報提供システム」にも掲載しま

す。各自確認してください。

なお、電話等での問い合わせには応じられませんのでご了承ください。

文学部の進級者の発表について

3月4日(木)午前10時に学内掲示板及び大学ホームページ「情報提供システム」にて発表しますので各自確認してください。

なお、電話等での問い合わせには応じられませんのでご了承ください。

今年度卒業予定者の証明書の発行について

今年度卒業予定者で、卒業式当日に卒業証明書・成績証明書（後期の成績を含むもの）・資格取得証明書が必要な場合は、次の期間に申込みをしてください。

2月27日(金)～3月15日(月)

卒業式当日、卒業証書・学位記等と一緒にお渡しします。

※この期間より後の申込みについては、卒業式の翌日以降の発行になります。

年度末の証明書発行について

学割証・在学証明書・成績証明書は自動発行機で各自発行してください。（即日発行、学生証が必要）

ただし、3月25日(木)～3月31日(水)の期間は学年切替え作業のため証明書が発行できませんので注意してください。

科目等履修生・聴講生制度について

卒業後も開講科目を受講することのできる「科目等履修生・聴講生」制度を実施しています。

在学中に資格課程の単位を未修得のまま卒業した場合等は、この

制度によって必要な科目を履修することができます。

ただし、資格課程を履修希望の場合、出願資格・受講可能科目等に条件がありますので、早めに教

務部窓口にて相談してください。

出願書類配布 3月上旬（予定）

出願期間 4月1日(木)～4月7日(水)

学 生 課

学生証の返還及び更新について

3月18日(木)に卒業・修了される学生諸君は、卒業式当日に式場前で学生証を返還してください。ただし、学生証の有効期限は3月31日までですので、学割などを使用される方は後日返還（郵送可）してください。

在学生については、新年度オリエンテーション期間の4月3日(土)に「2004年度在籍確認シール」を配

付します。受け取り後、直ちに学生証裏面のシールを張り替えて有効期限を更新してください。新年度のシールが貼付されていない学生証は無効となります。

オリエンテーションの日程については、4月3日(土)～4月9日(金)の予定です。詳細決定後、3月上旬に保証人宛に郵送、ならびに学内に掲示します。

住所（帰省先・下宿住所）・電話番号等の変更は、速やかに届出を

保証人住所（帰省先など）・現住所（下宿住所）・電話番号などに変更が生じた場合は、速やかに学生課で「学籍事項登録票（変更）」を受け取り、修正手続きをしてください。大学からの重要かつ緊急の連絡ができずトラブルの原因となりますので注意してください。

海外渡航についての注意

冬期休暇・春期休暇を控え、学生諸君の中には海外渡航の計画を進めておられる方も多いと思います。アメリカでの同時多発テロ発生以来、戦争や紛争、また、重症急性呼吸器症候群（SARS）等、海外で不測の事態に巻き込まれる危険が増大しています。渡航にあたっては、以下のホームページにて、渡航先の治安状況、衛生状態等を調査し、情報をこまめにチェックした上で慎重に計画を立ててください。利用する旅行会社・航空会

社についても信頼できる会社であるか、また緊急連絡体制は万全か確認し、自分自身を守るため海外旅行傷害保険に必ず加入してください。

渡航については「学生渡航届」の提出が必要です。指導教員の承認を得たうえで必ず学生課に提出してください。

厚生労働省ホームページ

<http://www.mhlw.go.jp/>

外務省海外安全ホームページ

<http://www.pubanzen.mofa.go.jp/>

国立感染症情報センター

<http://idsc.nih.go.jp/index-j.html>

万一、日本到着後に発熱、咳、嘔吐などの症状がある場合は、すぐに最寄りの保健所に電話で相談して下さい。また、すみやかに大学へ電話により状況を知らせてください。

本学連絡先 075-411-8120（保健室）

総務課

卒業証書並びに学位記授与式について

2003年度卒業証書並びに学位記授与式を次のとおり挙行政いたします。

日程：2004年3月18日(木)

		第1部	第2部	第3部	真宗大谷派教師資格取得 コース履修生修了証書授与式
対象専攻・学科		大学院：真宗学・仏教学 哲学・社会学 文学部：真宗学科・仏教学科 哲学科・社会学科	大学院：仏教文化・国際文化 文学部：史学科・文学科 国際文化学科 人文情報学科	短期大学部：仏教科・文化学科 幼児教育科	真宗大谷派教師 資格取得コース履修生
卒業証書・ 学位記授与式	時間	9時30分	11時15分	13時00分	12時15分
	場所	講堂	講堂	講堂	尋源講堂
学位記・証書・ 履修単位通知書等配布	時間	10時30分	12時15分	13時50分	
	場所	1号館（詳細は後日）	1号館（詳細は後日）	2号館（詳細は後日）	

※証書等の配布方法が変わります。

本年度より、講堂での式典終了後、引き続き各学科ごとに教室に分かれ、証書等を各学科の代表の先生より卒業生の皆さんお1人ずつにお渡しいたします。指定された教室へ時間通り移動できるようスムーズな進行に、学生皆さんのご協力をお願いします。

※お願い

卒業予定者のみなさんへ：講堂での式典終了後、各学科ごとに指定された教室へ速やかに移動してください。

在学生のみなさんへ：講堂での式典終了後、卒業生の方々に証書等の配布をすぐに行いますので卒業生の移動、式典の進行にご協力ください。

校友センター

卒業・修了ならびに同窓会新入会員歓迎祝賀会のご案内

本学では、毎年本学を卒業・修了し、新たに同窓会員となられる方々を対象に、大谷大学・大谷大学短期大学部と大谷大学同窓会の共催で「大谷大学卒業・修了ならびに同窓会新入会員歓迎祝賀会」を開催しています。

今年も昨年同様、市内のホテルを会場として実施し、当日は本学教職員も出席の予定です。サークルによるアトラクションも企画しております。

卒業証書・学位記授与式にご出席の父母兄姉の皆さまもお誘い合わせのうえ、ふるってご参加ください。

さい。

■日時 3月18日(木)

*卒業証書・学位記授与式終了後
16:30~18:30

■会場 京都全日空ホテル
2F 平安の間

[交通機関]

地下鉄烏丸線「烏丸御池」下車
〔乗換〕地下鉄東西線「二条城前」下車すぐ

■立食パーティー形式

*「大谷大学卒業・修了ならびに同窓会新入会員歓迎祝賀会」案内状は、卒業・修了通知書とともに発送いたします。



昨年の祝賀会風景

なお、当日は各自会場へご集合ください。
〈お願い〉祝賀会場は例年大変混雑しております。会場内は禁煙とさせていただきます。また、在学生の参加はご遠慮ください。

図書館

年度末の図書館利用について

2004年1月8日(木)からの図書館利用は次の通りです。

都合により変更がある場合は、掲示・HPにてお知らせします。

貸出される資料は既定の返却期限を守り、御利用ください。なお、館内整理・調査のため年度内は3月13日(土)以降、貸出できません。

期 間	開 館 状 況
1月8日(木) 1月13日(火)	■平常開館 (月)~(金) 9:00-19:30 (土) 10:00-17:30 (日・祝日) 休館
1月14日(水) 2月1日(日)	■後期試験対応開館 (月)~(金) 9:00-20:00 (土) 10:00-17:30 (日・祝日) 休館
2月2日(月) 2月3日(火)	■平常開館 9:00-19:30
2月4日(水) 2月8日(日)	■一般入学試験〔第1期〕対応 休館
2月9日(月) 2月13日(金)	■平常開館 (月)~(金) 9:00-19:30 (祝日) 休館
2月14日(土) 3月16日(火)	■短縮開館 (月)~(金) 9:00-18:00 (土・日) 休館
3月17日(水) 4月2日(金)	■館内整理・調査体制 休館
4月3日(土)	■入学式 休館

財 務 課

2004年度 前期学生納付金(学費)の納入について 納入期限は4月20日(火)―締切日厳守―です。

前期学生納付金の納入期限は4月20日(火)〈銀行受付日付有効・納入期日厳守〉です。

納入期限までに納入のない場合は、学則により除籍となりますので注意してください。振込依頼書は、保証人宛に2004年3月31日に大学より一斉発送します。保証人住

所、現住所、電話番号など、学籍事項に変更があった場合は必ず学生課に「学籍事項登録票(変更)」を提出してください。また、振込依頼書が届かない場合、または紛失、破損した場合には再発行しますので、財務課まで申し出てください。

なお、事情により期限内納入が困難と予測される場合には、必ず納入期限までに、学生課に相談し、学費延納の手続きをしてください。

手続きには「学費延納許可願」(所定用紙)および学生納付金負担者の所得証明書(納税証明書・源泉徴収票等)が必要です。

2004年度前期学生納付金一覧		学 費		その他の費用			合 計 額
		授 業 料	施 設 費	大谷学会費	学生会費	教育後援会費	
文 学 部	真宗、仏教、哲、社会、史、文、国際文化学科	397,500	100,000	1,000	2,500	15,000	516,000
	人文情報学科	397,500	175,000	1,000	2,500	15,000	591,000
短期大学部	仏教科・文化学科	397,500	100,000	1,000	2,500	15,000	516,000
	幼児教育科	397,500	110,000	1,000	2,500	15,000	526,000
大 学 院	修士・博士後期課程	240,000	60,000	1,000		15,000	316,000

進路就職センター

進路就職センターは、進学や就職など、進路全般についての相談窓口です。学年を問わず気軽にご相談ください。

■就職支援企画

―履歴書用写真撮影(有料)―

今後必要となる履歴書用写真を、学内でまとめて購入できます。写真はシール形式になっていますので、非常に便利です。

日程：1月28日(水)・29日(木)・30日(金)

場所：至誠館2F会議室

費用：1,800円～2,800円(税込) (CD-R希望の場合は300円追加)

※詳細につきましては、進路就職センター掲示板で確認してください。

―就職活動直前ガイダンス―

就職活動を進める上で、必要な書類・欠席事由証明書・その他重要な事柄について説明します。

日程：2月2日(月)

※詳細につきましては、進路就職センター掲示板で確認してください。

―学内企業セミナー―

文学部第3学年・短期大学部第1学年対象

学内で開催される合同企業セミナーです。例年約100社程度の参加があり(3日間合計)、毎年このセミナーから多くの内定者を排出しています。

日程：2月17日(火)・18日(水)・3月12日(金)

※詳細につきましては、進路就職センター掲示板で確認してください。

―面接実践対策講座(申込制)―

文学部第3学年・短期大学部第1学年対象

これから始まる就職活動において、面接はほとんどの企業で実施されます。それほど重要視される面接の対策講座です。ぜひ受講し、面接への不安感を取り去ってください。

日程：2月9日(月)・12日(木)・19日(木)に実施予定。なお、3月中にも実施予定です。

受付：1月8日(木)～2月2日(月)17:00まで

費用：無料(但し、進路就職センター窓口に申込みこと)

※詳細につきましては、進路就職センター掲示板で確認してください。

受講人数に制限がありますので、申込制とします。

第1学年からのサービス紹介 ～キャリア形成を考える～

～資格取得を目指そう～

◎TOEICレベルアップ講習 第3回

第3回は600点へのレベルアップを目指した対策講習を開講します。

TOEIC レベルアップ講習 第3回

日程		時間	定員	受講料	テキスト	受付期間
2月	10日・12日・13日	10:00～12:00	20	15,000	学内書店にて購入	1月8日(休)～15日(休) 17:00まで
	17日・19日・20日					
24日・26日・27日						
3月	2日・4日・5日・9日					
	11日・12日・16日					
	17日					

◎マイクロソフトオフィススペシャリスト

(旧MOUS) 試験対策講習 第5回・第6回

仕事をする上でもっとも使用されているWord(ワープロソフト)・Excel(表計算ソフト)の使用方法をマスターする講習です。また別途申込にてマイクロソフトオフィススペシャリスト(旧MOUS)検定試験も受験できます。

マイクロソフトオフィススペシャリスト(旧MOUS) 試験対策講習

●第5回

日程		時間	定員	受講料	テキスト	受付期間
2月	9日～13日	10:00～15:40	30	5,000	学内書店にて購入	1月8日(休)～15日(休) 17:00まで
	16日～20日					

●第6回

日程		時間	定員	受講料	テキスト	受付期間
2月	23日～27日	10:00～15:40	30	5,000	学内書店にて購入	1月8日(休)～15日(休) 17:00まで
3月	1日～4日					

～難関試験に早期から備えよう～

◎公務員受験特別講習 演習講座

公務員希望者を対象に、採用試験に対する受験対策講習を開講します。

今回の講習は、地方中級レベルから大卒警察官・大卒消防職員レベルに向けての一般知識・一般知能分野(数的推理・判断推理・資料解釈)対策となります。受講は学年を問いません。

公務員受験特別講習 演習講座

日程		時間	定員	受講料	テキスト	受付期間
3月	1日～5日	10:30～16:00	50	4,000	2,600円 当日会場にて販売	1月8日(休)～15日(休) 17:00まで

◎教員受験特別講習 第2回

教員希望者を対象に、採用試験に対する対策講習を開講します。

今回は、最新の出題を解きながら第1回の学習を復習、深化、統合し、併せて出題傾向をさぐります。受講は学年を問いません。

教員受験特別講習 第2回 教職教養科目対策

日程		時間	定員	受講料	テキスト	受付期間
2月	9日・13日・16日	14:30～16:00	50	4,000	500円	1月8日(休)～15日(休) 17:00まで
	18日・20日・23日					
	25日・27日					
3月	1日・2日・8日・10日					
	12日・15日・16日					
	19日・22日・23日					
	24日・26日					

お詫び

前号の『大谷大学広報秋号』の中に誤りがありましたので、次のとおり訂正いたします。

P.9 本学卒業生が音楽プロデューサー、ソングライターとして活躍!

(誤) インターネット・カフェ・レコーズのホームページ

(正) インスタント・カフェ・レコーズのホームページ

2004年度学費について

本学では、学生納付金のうち文学部および短期大学の授業料については、毎年一定の算式で改訂するスライド方式を採用しています。

2004年度の授業料についてはスライド率0.00%とし、2003年度の授業料の額（795,000円）のまま据置といたします。なお、大学院の授業料も2003年度の額（480,000円）のまま変更ありません。

本学では、2003年10月、響流館内に博物館を開館しました。大学が所蔵する貴重な資料を公開することにより、学生諸君への教育研究活動に大いに寄与するとともに、広く社会に対して知的財産を公開する社会教育施設としても機能しています。今後は、博物館資料の調査研究を進め、図書館や博物館にある貴重資料のデータベースや画像データベースを整備し、貴重資料のデジタルアーカイブの構築を目指します。

情報設備では、響流館建築にもなって整備された情報機器をさらに有効に利用できるように、環境整備を図っていきます。またマルチメディア（1313）教室の機器の更新などを予定しており、最新の機器による教育研究活動を支援していきます。

施設設備の整備では、バリアフリー対策として2号館、至誠館にエレベーターを設置しました。2004年度以降も引き続き構内のバリアフリー化を実施していく予定であり、すべての学生諸君が快適に学生生活を送れるよう整備いたします。

短期語学研修などの海外研修をともなう国際交流科目は、今年度にも引き続き2004年度も開講します。海外の文化を理解すると共に、異なる文化を知ることによって身近な文化を再認識することにもつながります。海外での実体験学習を通じて、様々な視点から見つめる広い視野を養い、国際社会に活

躍できる人材の育成を目指し、より一層充実した授業として開講します。

昨今の社会情勢の中で、就職は非常に厳しい状況が続いています。この中で、学生諸君の卒業後の進路決定をサポートする体制をさらに充実させると共に、さまざまな資格取得のための講座や各種就職講習を開き、万全のフォローで一人ひとりの将来を応援していきます。

私立大学の財政は、国立大学の法人化による競争の激化や国庫補助金の伸び悩みや大学就学人口の減少などにより、非常に厳しい状況にあります。そのような状況の中で、今後もより一層教育研究環境の改善、充実に努めるとともに、大谷大学の将来に向けて一層の経営努力を続けていく所存です。ご理解を賜りますようよろしくお願い申し上げます。（大谷大学）

(A) 文学部

(年額)

学費	学科	真宗・仏教・哲学・社会・史学・文学・国際文化学科	人文情報学科
授業料		795,000	795,000
施設費		200,000	350,000
合計		995,000	1,145,000

(2004年度入学者は入学金200,000円必要)

(B) 短期大学部

(年額)

学費	学科	仏教科・文化学科	幼児教育科
授業料		795,000	795,000
施設費		200,000	220,000
合計		995,000	1,015,000

(2004年度入学者は入学金200,000円必要)

(C) 大学院文学研究科

(年額)

学費	課程	修士課程	博士後期課程
授業料		480,000	480,000
施設費		120,000	120,000
合計		600,000	600,000

(2004年度入学者は入学金200,000円必要)

2004年度公募制推薦入試結果

学部	方式	学 科	募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	倍率	合格者得点		
								最高点	最低点	
文学部	A方式	真宗学科	10	72 (10)	72 (10)	17 (3)	4.2	121	105	
		仏教学科	10	28 (4)	28 (4)	18 (4)	1.6	117	92	
		哲学科	10	68 (24)	68 (24)	22 (11)	3.1	120	104	
		社会学科	20	153 (68)	150 (67)	28 (24)	5.4	129	114	
		史学科	10	100 (40)	98 (40)	12 (8)	8.2	130	117	
		文学科	10	96 (53)	95 (52)	15 (9)	6.3	125	110	
		国際文化学科	10	62 (38)	60 (36)	15 (11)	4.0	122	106	
		人文情報学科	10	90 (28)	90 (28)	14 (5)	6.4	115	108	
	合 計	90	669 (265)	661 (261)	141 (75)	—	—	—		
	B方式	真宗学科	10	60 (8)	60 (8)	17 (3)	3.5	124	102	
		仏教学科	10	36 (14)	36 (14)	20 (11)	1.8	117	87	
		哲学科	10	70 (21)	70 (21)	22 (8)	3.2	121	106	
		社会学科	20	242 (92)	239 (89)	35 (20)	6.8	133	111	
		史学科	10	170 (62)	160 (60)	17 (9)	9.4	135	118	
文学科		10	129 (74)	127 (73)	18 (14)	7.1	123	114		
国際文化学科		10	96 (59)	94 (57)	19 (9)	4.9	130	113		
人文情報学科		10	90 (19)	88 (19)	14 (8)	6.3	129	102		
合 計	90	893 (349)	874 (341)	162 (82)	—	—	—			
文学部合計			180	1,562 (614)	1,535 (602)	303 (157)	—	—	—	
短期大学部	A方式	仏教科	15	22 (11)	22 (11)	21 (10)	1.0	127	67	
		文化学科	25	58 (52)	58 (52)	38 (35)	1.5	130	88	
		幼児教育科	7	110 (79)	106 (75)	8 (7)	13.3	123	115	
		合 計	47	190 (142)	186 (138)	67 (52)	—	—	—	
	B方式	仏教科	10	20 (5)	20 (5)	19 (5)	1.1	117	75	
		文化学科	25	81 (69)	75 (63)	46 (44)	1.6	129	92	
		幼児教育科	7	123 (96)	119 (92)	8 (7)	14.9	128	116	
		合 計	42	224 (170)	214 (160)	73 (56)	—	—	—	
	短期大学部合計			89	414 (312)	400 (298)	140 (108)	—	—	—
	総 計			269	1,976 (926)	1,935 (900)	443 (265)	—	—	—

注：① () 内数字は女子内数
②全て150点満点

2004年度大学院秋季試験（修士課程）結果

課程	専 攻	募集人員	区分	志願者数	受験者数	合格者数	倍率
修士課程	真宗学	定員 (20) の 50%程度	学内	10 (1)	10 (1)	7 (0)	1.3
			学外	4 (0)	4 (0)	4 (0)	
	仏教学	定員 (20) の 50%程度	学内	5 (1)	5 (1)	4 (0)	1.4
			学外	2 (0)	2 (0)	1 (0)	
	哲学	定員 (10) の 50%程度	学内	2 (1)	2 (1)	2 (1)	1.0
			学外	0 (0)	0 (0)	0 (0)	
	社会学	定員 (10) の 50%程度	学内	2 (0)	2 (0)	1 (0)	3.0
			学外	1 (0)	1 (0)	0 (0)	
	仏教文化	定員 (20) の 50%程度	学内	1 (0)	1 (0)	1 (0)	1.0
			学外	0 (0)	0 (0)	0 (0)	
	国際文化	定員 (10) の 50%程度	学内	2 (0)	2 (0)	2 (0)	1.0
			学外	1 (0)	1 (0)	1 (0)	
合 計		定員 (90) の 50%程度	学内	22 (3)	22 (3)	17 (1)	
			学外	8 (0)	8 (0)	6 (0)	
			計	30 (3)	30 (3)	23 (1)	

注：① () 内数字は女子内数
②倍率は、受験者数を合格者数で除したのもの。

《他大学合格者の出身大学名》

◆各1名 九州大学・都留文科大学・姫路工業大学
横浜国立大学・関西大学・同志社大学

谷大エリア散策

第13回 グリルはせがわさん

おいしいハンバーグのお店、北大路橋西詰の「グリル はせがわ」のご主人・長谷川好成さんにお話を伺いました。



長谷川好成さん

—お店はいつ頃からですか

昭和34年、高校を出てすぐにこの店を始めました。料理は独学で、まったくの我流で始めたので大変でした。近くの主婦や母や姉に作り方を教わったのですが、失敗ばかりで、初めのうちはまったく商売になりませんでした。ハンバーグは味も姿も良いものが出来上がるまで10年近くかかりました。店はもう40年以上になりますが、今までやってこられたのは周りの協力のおかげです。幸い、人にはとても恵まれて、肉屋さんや八百屋さんなどの仕入れ先やスタッフに、良い人々に巡り会えました。感謝しています。

大谷大学の方も、よく来られますよ。昔は生徒さんが多かったですが、今は先生が多いですね。

—ハンバーグがおいしいですね

ハンバーグだけで16種類あります。素材にはこだわって良いものを使っています。肉は和牛、玉ねぎも品質の良いもの、パン粉も、小麦粉やバターを厳選して特別に焼いたパンを削って作っています。そのままサンドイッチにしてもおいしいパンですよ。材料は惜しみません。本当に良いものをひねくらないでそのまま使えば、何もなくてもおいしいですから。うちはほとんど宣伝をせず、その分のお金をすべて材料に使っています。この味を維持したいので、どうしても素材の質は落とせま

せん。ハンバーグにしては値段がちょっと高めですが、これ以上お安くしたくてもできないんですよ。

—ハンバーグをお店のメインにされたのはなぜですか

ハンバーグには、作る人それぞれの真似できない味があるからです。人によって、家庭によって味が違います。他所と違う、うちの店の顔を作りたかったんです。それに子供が喜ぶからです。若者も大好きですし、お年寄りにも食べてもらえます。中年の人向きにカボチャなどの野菜入りを作り、BSE騒動のときにはチキンのハンバーグも作って、メニューに加えました。大勢の人に喜んでもらえるものと思っています。

—お店の雰囲気がいいですね

内装は昔とあまり変わっていません。ランプなども古いままです。店の看板、メニュー、ラック、テーブルなどはすべて自分で作りました。夜中に壁のペンキを塗ったり、修繕もしましたよ。仕事の合間に檜の端材を使って小物を作り、絵を描いて彩色しています（机の上には製作中のコースターや栓抜、ライターケースなどがたくさん）。

北山の奥で「山のレストランはせがわ」というペンションも経営して、そこに大きな陶芸釜を置いて、陶芸もやっています。いずれお皿も全部手焼きのものにして、料理に応じた器でお出ししたいと思っています。

—いろんなものを作っておられるのですね

人にできることは自分にもできる、というのが僕の信念です。最初からできないと思っただけです。ただし時間がかかりますけどね。辛抱して努力すれば、その分自分の幅が広がりますよ。料理も師匠につかなかったのが時間がかかりましたが、人に教わっていない分、自分だけの発想で作れるので、面白いものができると思っています。

僕は能力よりも個性が大事と思っています。料理でもケーキでも作り手の個性が光っているものが多い。何でもそつなくできる能力より、1つのことを磨きあげて行く方が、きっと将来の道標になりますよ。

今、「究極のハンバーグ」を試作している最中なんです。最高の素材を集めて、肉だけで200グラム位のもの、玉ねぎも更に良いものを探し、塩もいろいろ研究した結果、アンデスの岩塩に決めました。薄いピンク色をしていて、なめるとほんのり甘味がするんです。塩が甘いなんて信じられないでしょう。値段は3000円の予定です。材料だけで同じ位するので、まったく儲けはありません。「そんなに高いハンバーグなんて」と思われるかもしれませんが、ステーキなら味は肉の値段次第ですが、複数の材料を混ぜて作るものはそうはいかないので、もっといいもの、おいしいと言ってもらえるものを作りたいと挑戦しています。

お金で買えるものならどこにでも同じものがあります。自分で作ることを楽しみながら商売したいですね。お客さんに来てもらえる店にするには、喜んで食べていただけるものを頑張って作るが一番。「おいしい」と言ってもらえることが何よりも嬉しいですから。

もっと年を取ってもここに身を置いていきたいですよ。お客さんに煙たがられない程度に店にいて、皆さんとお話しして楽しみたいですね。

—ありがとうございました



店内の様子

写真でふりかえる 大谷大学今昔



『春記』（大谷大学博物館蔵）



山田文昭



肖像画幅

『春記』（重要文化財）と山田文昭

佐々木 令 信

平成十三年（二〇〇一）、大谷大学近代化百年（創設三三六年）を迎えるにあたって新設されたのが、真宗総合学術センター響流館である。その中に、このほど大谷大学博物館が開館された。真宗・仏教文化財を中心に展示公開するためである。

「古典籍の魅力―大谷大学の名品―」と題する開館記念特別展には、重要文化財七点を含む大谷大学所蔵の名品四〇点余が展示された。

展示公開の目玉の一つに、平安時代の貴族、藤原資房の日記である『春記』長久二年（一〇四一）二月条（平安時代末期鈔本、昭和四十一年重要文化財指定）があった。卷子本で紙本墨書、墨の豊潤な香りを今に伝える『春記』は、縦二八・八×横一〇五五・〇センチメートル。

長久二年は、後朱雀天皇の治政で、政権を担っていたのは関白左大臣の藤原頼通である。他の古記録（貴族の日記）も残っているものも少なく、北野行幸、平安時代の貴族藤原公任の薨去、舟遊に関すること、季御読経のこと、仏師定朝に舟の龍頭を作らせたこと、資房自身をめぐることなど、この月は欠けることなく残っており貴重である。

紙背に『大日経秘要鈔』が書写されており、同様の形態をもつ宮内庁書陵部所蔵『春記』長久二年三月条との比較がまたれる。

山田文昭は、大学の初代図書館長で、史料を重視し聖教・文書の影写書録や発見蒐集につとめた。また、親鸞聖人六五〇年御遠忌の『本願寺誌要』や信心の発露ともいうべき親鸞の伝記『黒衣の聖者』などがある。本学が東京巢鴨を去るについての残務委員であり、真宗史学・日本仏教史学の基礎を築いた。昭和八年（一九三三）四月十八日五十七歳で没、遺稿集『真宗史稿』『真宗史之研究』『日本仏教史之研究』『逍遙遊語』が刊行された。ご遺族の厚意によって蔵書の善本約二五〇点が寄贈され、『三教指帰注集』（重要文化財）などとともに注目される場所である。真宗大谷派の学階講師で、超世院文昭という。本学所蔵の肖像画幅の賛は橋川正、藤原猶雪とともに山田門下の日下無倫。賛には「昭和己卯歳（一九三九）之秋日」とある。

(NKKK) れいしん 教授 日本仏教史

学生相談室から



精神科医小倉の「こころの健康についての五項目」注)のなかの、一番目の「現実を見つめること」は実に示唆に富んでいる。つい、現実には厳しいと口をつくときがある。何事においても、希望どおりにはことが運ばないことが多い。それは、自分の思いや考えが、他者に理解されず曲解されること。進路についてもこの時勢ではままならない。このとき、つい現実は厳しいと口をつく、越えがたい壁を意識させられるときである。このときの処し方はさまざまで、現実から目を背け、萎えたところをもてあますひともいる。沸騰した怒りが口をつくひともいる。両者の処し方は、現実からはずれている。叶わぬことを追慕し、恨み、憎しみを重ねれば、行動にブレーキがかかり「こころとからだ」が乖離するばかりだ。このことをつづければ、問題は棚上げされ、時間だけが経過することになる。

苦しい状況にあつて、結論を急がずに適当な時間の間をおくことや、チャンスを待つこと、状況の変化を読み取る努力をつづけること。放棄し、怒りをぶつけても解決しない。どのようなことに遭遇しても、現

現実を見つめること

佐賀枝 夏文

学生相談室の開室について

場所	曜日	相談室	学生相談員	相談日時
学生相談室 (博綜館1階)	月曜日	1 2	谷口奈青理	10時30分～16時00分
	火曜日	1 2	菊岡 千夏	10時30分～16時00分
	水曜日	1	宇佐 晋一 (神経科校医)	第2週・第4週 13時30分～16時00分
		2	佐賀枝夏文	10時30分～14時00分
	木曜日	1 2	讓 西賢 菊岡 千夏	10時30分～16時00分
	金曜日	1 2	菊岡 千夏	10時30分～16時00分

実から目をそむけずに見つめ、判断するところが肝要である。現実立って見つめるねばり強さは、こころの健康のパロメーターであり、促進作用がある。

注) 小倉清『児童精神医学総説Ⅱ』
安田生命社会事業団
(さ)がえ なつふみ

教授 社会福祉学・臨床心理士

出版物紹介

◎『万人に語りかけるブッダ
—「スッパニパータ」をよむ—』
雲井昭善 著
NHKライブラリー刊
(2003.11) 317頁



◎『莊嚴の京都学』
佐々木令信 著
佐々木令信先生還暦記念会刊
(2003.12) 245頁



◎『馮道の道』
礪波 護 著
フォブムン・イムデヒ 訳
ソナム (ソウル) 刊
(2003.6) 351頁



◎『馮道—乱世の宰相—』
(改版)
礪波 護 著
中央公論新社刊
(2003.10) 267頁



◎『構想力の芸術思想
：原理編Ⅱ』
John Ruskin 著
内藤史朗 訳
法蔵館刊 (2003.12) 291頁

◎『未来へのヴィジョン
—英米文学の視点から—』
林 奈美子 分担執筆
英潮社 (2003.10) 296頁

研究室だより

総合研究室から

1月から3月の研究室の開室は以下のとおりです。

1月11日（日）・12日（祝日）特別開室します。

なお、開室日や開室時間の変更は、ホームページ、学内掲示板に掲載します。確認してください。

1月						
			1	2	3	
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

2月						
			1	2	3	4
			5	6	7	
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29						

3月						
			1	2	3	4
			5	6		
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

赤字は響流館の休館日。薄い赤字は、10時開室 17時30分閉室 黒字は、9時開室 19時30分閉室
■は、9時開室 18時閉室 □は、9時開室 20時閉室

※3月18日は卒業式のため、閉室時間は15時ぐらいになります。 ※図書館は1月11、12日閉館です。

短期仏教科研究室から

○3月中旬に『仏教研究紀要』第26号の発刊を予定しております。ご希望の方は、研究室までご連絡ください。

幼児教育科研究室から

○現在、一般研究室の図書を借りている人は、1月14日(水)までに、必ず返却してください。
○『大谷大学短期大学部幼児教育科研究紀要』第5号を発行しました。幼児教育科の学生のみなさんには、授業の時にお渡しします。

○3月中旬に、今年度2回生が提出した「卒業研究」の要旨集を『卒業研究第37号』として発刊します。2回生には卒業式の日、1回生には次年度のオリエンテーション(4月)の時に、お渡しします。

学会だより

真宗学会

2月末に『親鸞教学』第82・83号合併号を刊行予定です。

3月中旬に『哲學論集』第50号を刊行予定です。

開催予定です。詳細は後日お知らせします。

仏教学会

1月14日(水)午後4時10分から卒業論文梗概発表会並びに送別懇談会を開催します。詳細は後日お知らせします。

宗教学会

『宗教学会報』第13号を刊行予定です。

文芸学会

3月18日に『文藝論叢』第62号河内昭圓教授退職記念号を刊行します。

哲学会

2月中旬に修士論文提出者による発表を中心とした談話会を行います。詳細は後日お知らせします。

社会学会

1月中旬に社会学会ワークショップを実施予定です。詳細は後日お知らせします。

中国文学会

3月中旬に河内昭圓教授退休記念行事及び最終講義を開催する予定です。

国史学会・日本仏教史学会

日本史の会の例会を1、3月に

大谷中学校・大谷高等学校からのお知らせ

大谷中・高等学校の公開講演会をご紹介します。

■高校3年生 卒業記念講演会

高校3年生の卒業を記念して講演会を行います。以下のような予定で行いますので、卒業生・保護者・そして一般の方々もご参加くださいますようお願いいたします。

日時 2004年1月8日(木)
午前 10:00~11:30
演題 「つまづいた時、どうする？」
 —自己を観る—
講師 豊田一成先生
 現在一びわこ成溪スポーツ大学
 競技スポーツ学科長
 (滋賀大学名誉教授)
 (浄土真宗木辺派常照寺住職)
場所 大谷中・高等学校講堂

■第4回「今熊野セミナー」

本校学校長の講演をもとに、参加いただいた方々と共に話し合いながらすすめる講座です。本校生徒の保護者の方々、地域にお住まいの方々、そして一般の方々に開かれた講座です。

日時 2004年2月19日(木)
 14:00~15:30
演題 「願いに生きる」
講師 大谷中学・高等学校校長
 真城義磨
場所 大谷中学・高等学校
 第一会議室

□2004年度 大谷中学・高等学校生徒募集について

大谷中学校(共学)	募集人員120名	入試日S1	入試日	1月31日(土)
		A	入試日	2月3日(火)
		S2	入試日	2月4日(水)
		出願日	2004年1月13日(火)~16日(金)	
大谷高等学校(共学)	募集人員300名	入試日(学科試験のみ)	2月10日(火)	
		出願日	2004年1月27日(火)~30日(金)	
大谷高等学校知進寮(男子)	バタビアコース・インテグラルコース	募集人員	7名	入試日
				1月18日(日)
		出願日	2004年1月6日(火)~9日(金)	

詳しくは大谷中学・高等学校(TEL 075-541-1312)へお問い合わせください。

九州大谷短期大学からのお知らせ

◆演劇放送コース卒業公演

日本語コミュニケーション学科演劇放送コース卒業公演を下記の通り行います。ぜひお越し下さい。

公演名『桜の園』

作: チューホフ

訳: 松下 裕

演出: 梁木靖弘

(本学演劇放送コース助教授)

美術: 五十嵐康治(同主任教授)

照明: 赤司晴彦(同非常勤講師)

音響: 今村和雄(同非常勤講師)

日時 1月17日(土) 14:00~18:30~
 18日(日) 14:00~18:30~
 19日(月) 18:30~
 20日(火) 18:30~

公開舞台稽古

1月11日(日) 14:00~17:00

場所 本学大谷小劇場

入場無料

◆2004年度一般・社会人入試日程

	出願期間	試験日
A日程	1月9日 ~1月30日	2月7日
B日程	3月1日 ~3月12日	3月13日
C日程	3月15日 ~3月26日	3月29日

※C日程での幼児教育学科募集はありません。

※長期履修学生制度については広報室(TEL0942-53-9900)までお問い合わせ下さい。

「大谷大学広報04-春」発行のお知らせ

「大谷大学広報04-春」の発行を4月に予定しています。さまざまなエッセイや連絡事項などを掲載する予定です。ぜひお読みください。広報は次の場所に置いてありますので、ご自由にお取りください。

①博綜館プロティー(博綜館入口横) ②学内食堂 ③各研究室 ④至誠館(学生課カウンター前) ⑤1号館1階 ⑥2号館1階

2004年度学年暦

【前期】

	日	月	火	水	木	金	土	行事予定等
4月					1	2	3	4月1日(木) *学年始 *宗祖誕生日 3日(土) *入学式
	4	5	6	7	8	9	10	3日(土) *オリエンテーション 9日(金) * (若葉祭を含む)
	11	12	13	14	15	16	17	8日(木) *釈尊降誕日
	18	19	20	21	22	23	24	12日(月) *前期授業開始
	25	26	27	28	29	30		15日(木) *聴講登録表提出期間 19日(月)
							1	20日(火) *前期学費納入最終日 28日(水) *宗祖御命日勤行・講話 29日(木) *みどりの日 30日(金) *臨時休業日
5月	2	3	4	5	6	7	8	5月3日(月) *憲法記念日 4日(火) *国民の休日 5日(水) *こどもの日 6日(木) *聴講登録確認表配布 7日(金) *登録修正期間
	9	10	11	12	13	14	15	28日(金) *宗祖御命日勤行・講話 31日(月) *「研究題目届」提出最終日 (修士第1学年) 「研究計画書」提出最終日 (博士第1学年)
	16	17	18	19	20	21	22	
	23	24	25	26	27	28	29	
	30	31						
								6月1日(火) *宗祖誕生会 (午後授業実施)
6月	6	7	8	9	10	11	12	
	13	14	15	16	17	18	19	28日(月) *宗祖御命日勤行・講話
	20	21	22	23	24	25	26	30日(水) *「卒業論文・修士論文・卒業研究」提出最終日 (前期卒業・修了予定者) *「卒業論文・修士論文・卒業研究題目届」提出最終日 (明年3月卒業・修了予定者)
	27	28	29	30				
								7月19日(月) *海の日 20日(火) *補講期間 21日(水) *前期定期試験 22日(木) *前期定期試験 30日(金) *宗祖御命日勤行
								8月2日(月) *夏期休暇
7月	4	5	6	7	8	9	10	
	11	12	13	14	15	16	17	
	18	19	20	21	22	23	24	
	25	26	27	28	29	30	31	
								9月18日(土) *集中講義期間 6日(月) *敬老の日 17日(金) *後期授業開始 20日(月) *前期履修単位通知書交付 21日(火) *秋分の日 23日(木) *宗祖御命日勤行・講話 28日(火) *前期卒業証書授与式 30日(木) *後期学費納入最終日 *前期終了
								29日(水) *登録修正期間 10月1日(金)
8月	1	2	3	4	5	6	7	
	8	9	10	11	12	13	14	
	15	16	17	18	19	20	21	
	22	23	24	25	26	27	28	
	29	30	31					
9月	5	6	7	8	9	10	11	
	12	13	14	15	16	17	18	
	19	20	21	22	23	24	25	
	26	27	28	29	30			

【後期】

	日	月	火	水	木	金	土	行事予定等
10月						1	2	9月29日(水) *登録修正期間 10月1日(金)
	3	4	5	6	7	8	9	
	10	11	12	13	14	15	16	11日(月) *体育の日 13日(水) *開学記念日
	17	18	19	20	21	22	23	28日(木) *宗祖御命日勤行・講話
	24	25	26	27	28	29	30	11月1日(月) *「卒業研究」提出最終日 (仏教科・文化学科) 3日(水) *文化の日
	31							
11月	1	2	3	4	5	6		11日(木) *学園祭期間(予定) 15日(月) *勤労感謝の日 23日(火) *大学報恩講 (午後授業実施) 26日(金) *宗祖御正忌 28日(日) *「卒業研究」提出最終日 (幼児教育科) 30日(火)
	7	8	9	10	11	12	13	
	14	15	16	17	18	19	20	
	21	22	23	24	25	26	27	
	28	29	30					
								12月10日(金) *「修士論文」提出最終日
12月	5	6	7	8	9	10	11	21日(火) *補講期間 22日(水) *天皇誕生日 23日(木) *宗祖御命日勤行 27日(月) *冬期休暇 24日(金)
	12	13	14	15	16	17	18	
	19	20	21	22	23	24	25	
	26	27	28	29	30	31		
								1月7日(金) *元日 1月1日(土) *修正会 7日(金) *成人の日 10日(月) *授業再開 11日(火) *「卒業論文」提出最終日 12日(水)
								24日(月) *後期定期試験 2月2日(水) *宗祖御命日勤行 1月28日(金)
1月	2	3	4	5	6	7	8	
	9	10	11	12	13	14	15	
	16	17	18	19	20	21	22	
	23	24	25	26	27	28	29	
	30	31						
								2月11日(金) *建国記念の日
2月	6	7	8	9	10	11	12	28日(月) *宗祖御命日勤行 *「研究成果報告書」提出最終日 (博士後期課程)
	13	14	15	16	17	18	19	
	20	21	22	23	24	25	26	
	27	28						
3月	6	7	8	9	10	11	12	3月18日(金) *卒業証書授与式 *学位記
	13	14	15	16	17	18	19	20日(日) *春分の日 21日(月) *振替休日 28日(月) *宗祖御命日勤行 31日(木) *学年終
	20	21	22	23	24	25	26	
	27	28	29	30	31			

【変更点】

2004年度より、6月1日(火)(宗祖誕生会)及び11月26日(金)(大学報恩講)の午後(3講時日以降)は通常通り授業を実施することになりますので注意してください。午前は従来どおり式典等を開催しますので、1・2講時の授業は休講となります。

茶髪もけっこう、エスニックもけっこう、パスタもけっこう、カメラ付き携帯もけっこう、キャッシュカードもけっこう、新しいコンピューター・ソフトもけっこう。かっこいいし、身体にいいし、おいしいし、便利だし、まずは害にはならない。ただ驚異なのはこの更新のスピードのめまぐるしさだ。ついこのあいだ買ったDVD±RW、CD-RW書き込み可のコンピューターもいまや常識。CDのX-JAPAN、CHEMISTRYも一昔前・・・などとささやかれると、自分のもっているものがおとそ時代遅れ、いやわたし自身

がもう時代から取り残された古着であるような気分させられる。たえざる技術革新の成果によって「日進月歩」は常識化し、いまやそんな言葉を使う人もいない。こうしてわたしたちは、万華鏡のようにきらきらと輝く欲望対象が降り注いでくる世界に住むことになっている。それもとくに若者をめがけて降り注ぐ。若者はいまだ既成の価値の刻印を押されていない白紙の存在、つねに新たなメンバーに入れ替わるために、新たな欲望を埋め込むことのできる潜在的な顧客、つまりターゲットだからだ。

ずいぶん以前のこと、かつてヨーロッパ近代に流布したといわれる「クカーニャの国（別名：怠け者の天国）」というテーマの一連の民衆版画をみたことがある。地上では多くの男女が脚を組んだり、組んだ腕に頭をのせてけだるそうに寝そべっている。ふとうえを見ると、空から塩漬けのハムや腸詰めが雨あられと降り注いでいる。さしずめ当時盛んであったまじめなユートピア思想の裏番組、民衆的な欲望を満たすユートピアである。もちろん当時の一般庶民はけっして毎日肉など食べたりできなかった。彼らにとっての

話題の広場 SQUARE

現代版 「クカーニャの国」の話

谷 泰



絵 内山智廣

夢は、そんな普段食べられないものを腹一杯たべることだった。ところがいまやそんな食品はそこらのスーパーに行けばどこにでもある。いまこの民衆版画家に現代版の「クカーニャの国」を描くよう依頼したら、なにを描くだろう。おそらく鳴り物入りで新発売される携帯電話やコンピューターやCDが、空から降り注いでくる絵にちがいない。ただ彼は、一年か半年ごとの新商品の発売のたびに、その絵を描き換えなくてはならない。

古いです。もう古いのです。私だけでなく、若い人々もそういう世界に生きている。そんな世界に私たちをおくことになった原因は二つ、高度資本主義がつねにあらたな付加価値商品をうみだし、欲望を刺激してモノを

買い続けさせること、そしてそこで競争のためになされる技術革新の飛躍的早さにある。マーガレット・ミードという人が、長い人類史のなかで現代においてはじめて立ち現れた、三つの重大な社会問題のひとつとして次のように言っていた。現代以前では、親は子にたいして、生きるための教えるべき専門知をもっていた。ところが現代での技術革新のあまりのスピードの早さのために、親は子に教えるものを失ったというのである。もちろん現代以前にすでに、生きるための知を伝える責任は、親から学校の教師の手に移りはじめてはいた。ただ、いまやインターネットの端末を開くや、つねに更新される新情報がえられる時代である。親に、教師に、

いやだれに求めなくとも、新商品とともに新情報も降ってくる。寝そべっていても降ってくる。しかもそれらが熾烈な資本主義企業が競争に勝ち抜くため常に更新し、新たな消費の欲望を白紙の若者に埋め込むために作られていることを、隠したままで降ってくる。モノは一家で共同使用できたモノではなく、個々人が別個にもつべきモノとなる。こうして私たちは、親と子どもか、数年の年齢の差で分断され、異文化に属する住民となる。分断の壁によって失われた無駄は計り知れない。いま求められているのは、その壁をうがって個々人の些細なトライだ。

(たに ゆたか
教授 文化人類学・人類学)